

brother

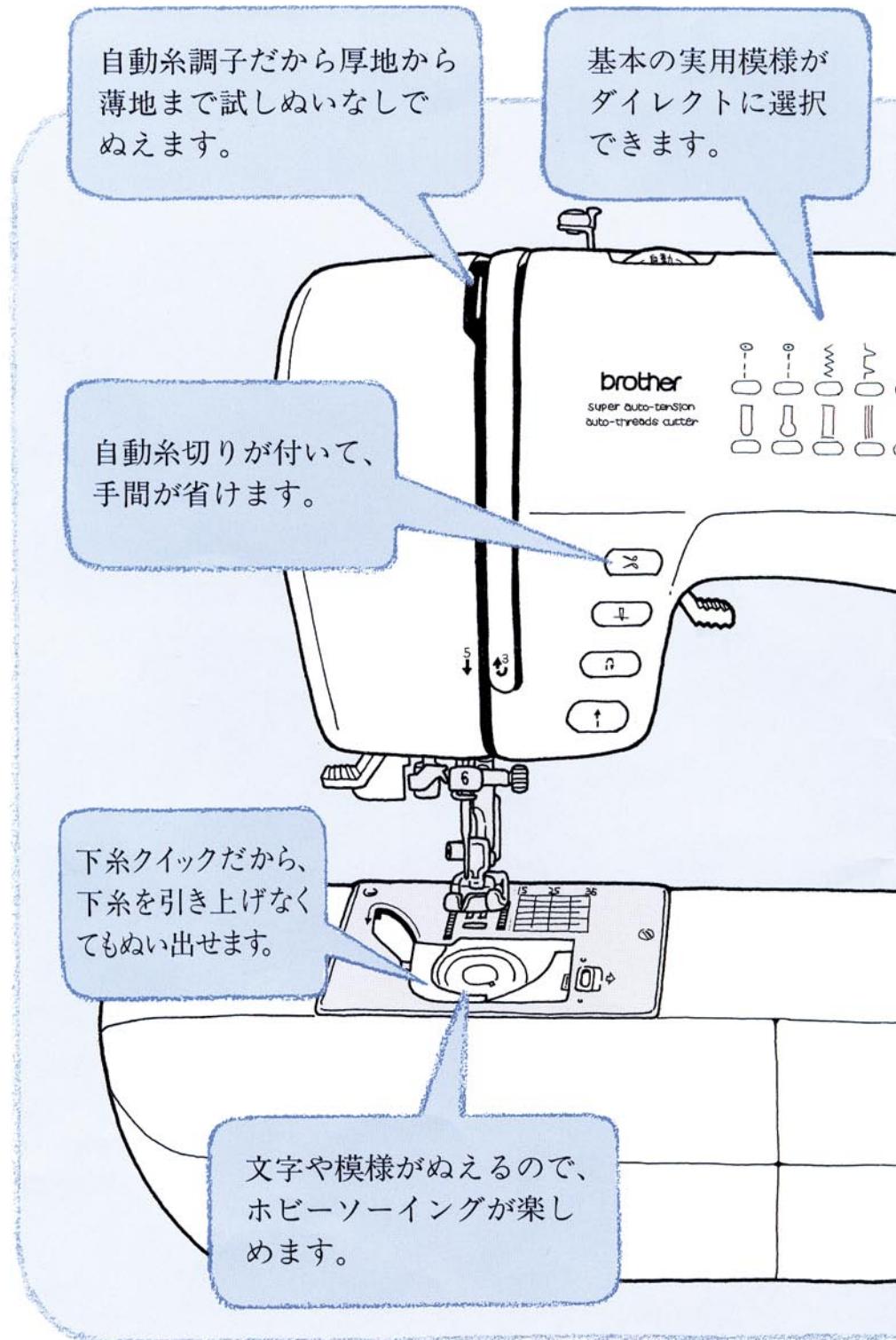
LAINAGE

レナージュ

コンピュータミシン
ZZ3-B833

取扱説明書

レナージュってこんなミシン。



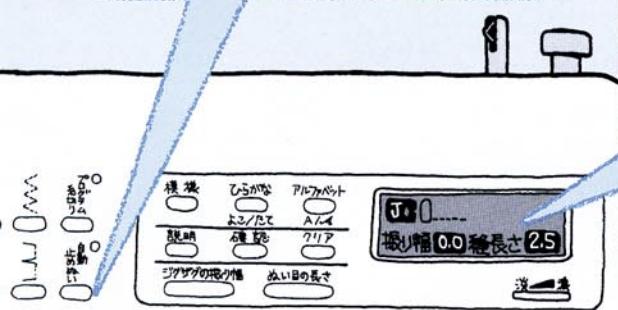
●ごあいさつ

お買い上げまことにありがとうございます。

この製品のすばらしい性能と、その正しい使い方をご理解いただくために、この＜取扱説明書＞を最後までよくお読みください。

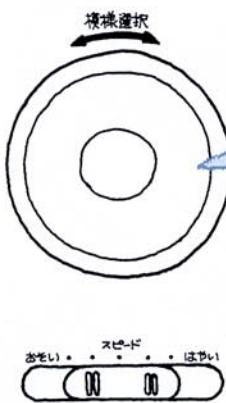
お読みになったあとは、保証書とともに必ず保存してください。

自動的にぬい始めとぬい終りのほつれ止めをします。



- バックライトがついて、明るく見やすくなりました。
- ぬい模様、ソーイングガイド、エラーなどがパターンとメッセージで、ディスプレイに表示されます。

文字や模様が、模様選択ダイヤルとセットキーで簡単に選べます。



ミシンのお取り扱いに ついてのお願い

■安全にご使用いただくために……

1. ミシンの操作中は、針から目を離さないようにしましよう。ブーリー、天びん、針などに手を触れないでください。
2. 次のようなときは、必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
 - 使用後
 - 部品の取り付け、取りはずしのとき
 - 運転中に停電したとき
 - 手入れをするとき
 - ミシンのそばを離れるとき
3. フットコントローラーの上に物を置くのはやめましよう。
4. たこ足配線は危険ですからやめましょう。

■末永くご愛用いただくために……

1. 保管するときは、直射日光のあたる所や湿気の多い所をさけてください。また、ストーブやアイロンなどのそばでのご使用はおやめください。
2. 汚れは中性洗剤などで軽くふき取り、ベンジン・シンナー・みがき粉は絶対に使用しないでください。
3. 落としたり、ぶつけたりなどの衝撃は禁物です。
4. ミシンのセットや押え、針の交換などは《取扱説明書》を参考に、正しく行ってください。

■修理、調整について……

万一故障が生じたり、不調のときには、トラブルチェック（P47～48）にならって、点検・調整を行つてください。それでも調子が悪いときには、お買い上げの販売店または最寄りのブロザーブランド販売店にお申し付けください。

● 目次 ●

各部の名称とはたらき 1~2

基本操作

下糸巻き/下糸セット	3~4
下糸のセットのしかた	4
上糸通し	5~6
ぬつてみましょう	7~8
ディスプレイの見方	8
説明キー	8
模様の選び方	9~18
模様選択ダイヤルの使い方	10
基本実用	11
模様	11~13
ワンポイントの選び方	11
飾りの選び方	12
サテンステッチの選び方	12
クロスステッチの選び方	13
実用の選び方	13
ひらがな	14
〈よこがき/たてがき〉の切り換え	14
アルファベット	15
〈プロック体/筆記体〉の切り換え	15
まちがえたとき	16
組み合わせた文字を確認したいとき	16
文字や模様をきれいにぬうためには	17
模様調整	18
振り幅、ぬい目の長さ調節	19
糸調子の合わせ方	20
押え交換	21
針交換	22
プログラム糸切り	23
自動止めぬい	24

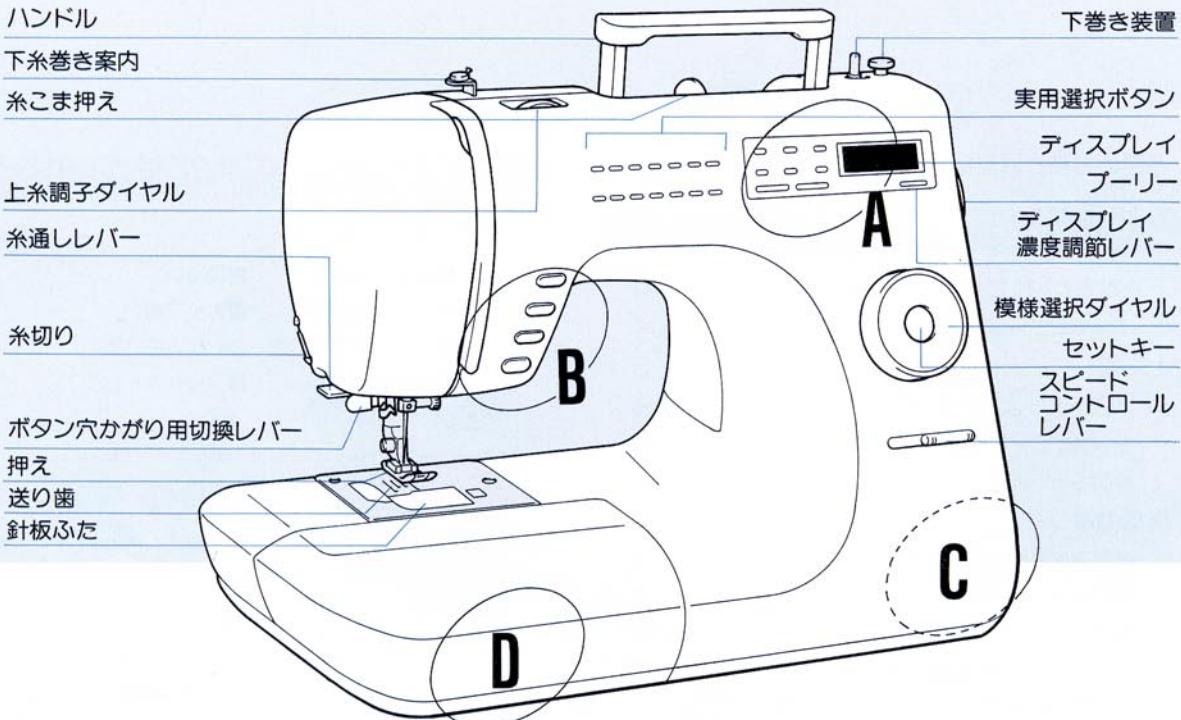
実用ぬい

覚えておくと便利	25~26
■厚地のぬい方	■段ぬい
■薄地のぬい方	■カーブぬい
■伸びる布のぬい方	■針板の使い方
■角ぬい	■フリーアーム
地ぬい	27
ファスナーツケ	28
ジグザグ	29
たちめかがり	30
ボタン穴かがり	31~32
まつりぬい	33
アップリケ	34
飾りぬい（ファゴティング）つき合わせ	35
スカラップ	36
かんどめ	37~38
ダーニング	39~40
アイレット	41
しつけ	42

その他

ランプの交換	43
お手入れ	44
ぬい方早見表	45
エラー/メッセージ表示・電子音	46
トラブルチェック	47~48
模様一覧	49~50

各部の名称とはたらき

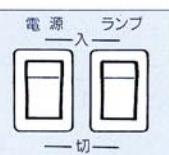
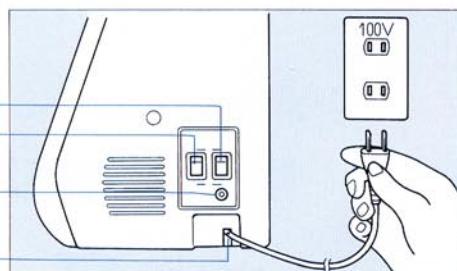


C

ランプスイッチ
電源スイッチ

フット kontrollöre
(別売り)用ジャック

赤印



*電源コードの赤印以上は引き出さないでください。
*電源コードをしまうときは、少し（1cm～5cm）引っ張ってから離してください。

D

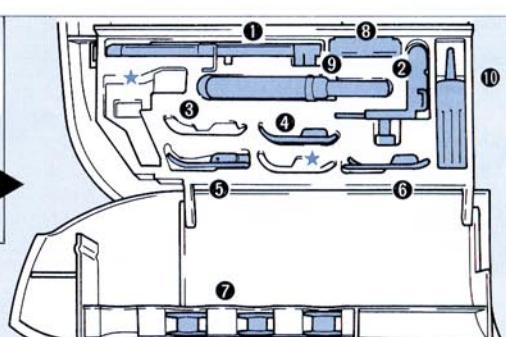
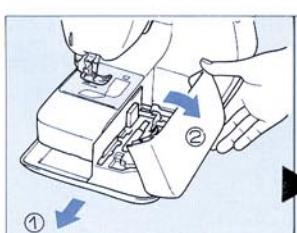
収納補助テーブル

押え記号

- ①ボタン穴かがり押え<A>
- ②片押え<I>
- ③ジグザグ押え<J>収納位置
- ④模様ぬい押え<N>
- ⑤まつりぬい押え<R>
- ⑥裁ち目かがり押え<G>
- ⑦ボビン
- ⑧ミシン針
- ⑨リッパー
- ⑩ドライバー



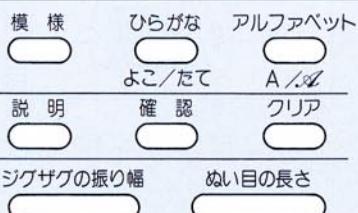
押え記号
※押えには押え
記号が付いています。



*ボビンは、専用ボビン（部品コードX80309-001）です。
*付属品は、必ず専用付属品をご使用ください。
★印は空スペースです。付属部品などはありません。

A

選択キー



(模様)キー

ワンポイント、飾り、サテンステッチ、クロスステッチ、基本実用以外の実用模様をぬうとき用います。

(ひらがな)キー

ひらがなをぬうとき、よこがき／たてがきの切り換えをするときに用います。

(アルファベット)キー

アルファベットをぬうとき、プロック体／筆記体の切り換えをするときに用います。

(説明)キー

実用模様を選んだ後でその用途を知りたいときに用います。

(確認)キー

組み合わせた文字を確認したいときに用います。

(クリア)キー

選んだ模様や文字を取り消したいときに用います。

(ジグザグの振り幅)マニュアルスイッチ

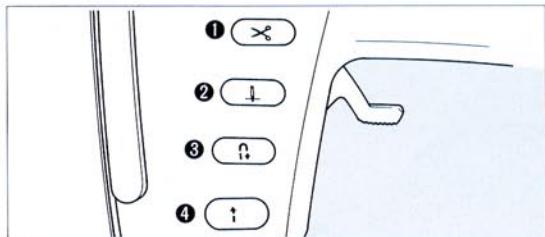
ジグザグの振り幅(模様の幅)、または針位置を調節するときに用います。

(ぬい目の長さ)マニュアルスイッチ

ぬい目の長さを調節するときに用います。

B

操作スイッチ



①糸切りスイッチ

上糸、下糸を自動的に切れます。

②針上下スイッチ

針の位置が上下に切り換わります。

※繰り返し押すと1針ぬいができます。

③返しひいスイッチ

スイッチを押している間は返しひい(止めぬい)を低速で行います。

返しひい……逆方向にぬいます。

止めぬい……同じ場所で3針ぬつて自動停止します。

※別売りのフットコントローラーを使用時は、低速にはなりません。

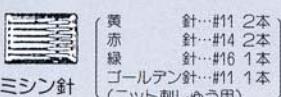
④スタート/ストップスイッチ

スイッチを押すとスタートし、もう一度押すとストップします。

※スイッチを押している間は、低速でぬいます。

※ミシンを停止させると針は下位置で止まります。

付属品



ハサミ



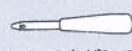
ドライバー



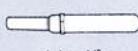
ボビン(4個)



ミシンブラシ



ハトメ穴パンチ



リッパー

糸こまえ押え(大)

※糸こまえ押え(小)は、ミシンの糸たて棒についています。糸こまの大きさに合わせてお使いください。

別売り

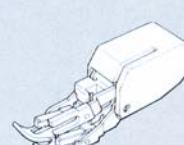
※最寄りのブラザー販売店でお求めください。

●フットコントローラー (MC-291)



部品コード
141-291-036-01

●ウォーキングフット

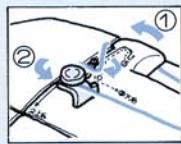


部品コード
184961-001

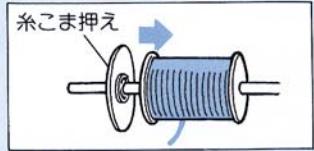
下糸巻き/下糸セット

下糸巻き案内に順序よく

3 下糸巻き案内に。



2 糸こまを糸が手前から出るようにセットします。

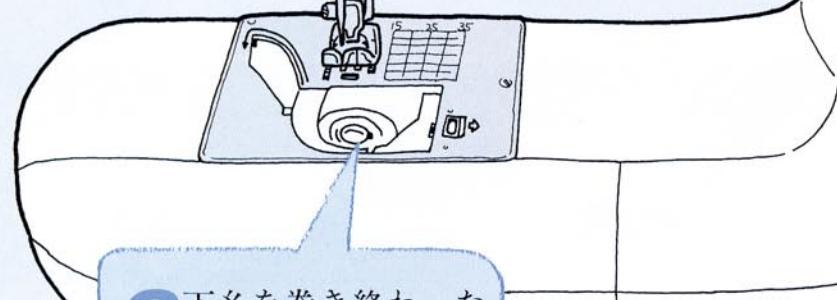


※糸こま抑えは、奥までいっぱいに差し込んでください。

4

7 スタート。巻き終わるとボビンの回転は止まります。ストップしてください。

6 スピードコントロールレバーを“はやい”方に。



8 下糸を巻き終わったボビンをセット。

5

▷ご注意

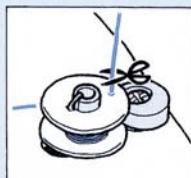
- ・下糸巻き中、実用選択ボタン、選択キー、返しづらいスイッチ、針上下スイッチ、糸切りスイッチを押すとミシンは停止します。

糸をかけます。

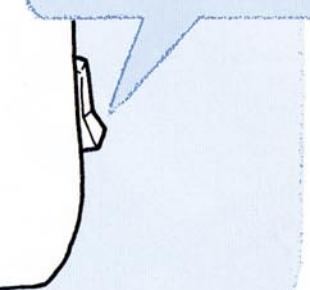
ボビンの穴に糸を通し、ボビンを軸にセットし、右へ。巻き終ったら左へもどします。



糸端を持ち、スタート/ストップスイッチを押し少し巻いたら、ミシンをいつたん止めて糸端を切ります。

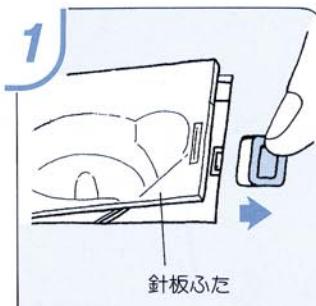


1 電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れます。



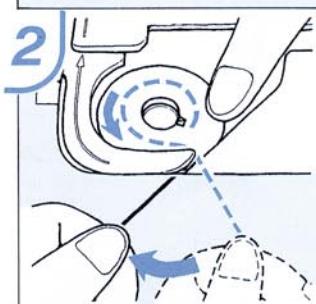
下糸のセットのしかた

針板ふたをはずします。

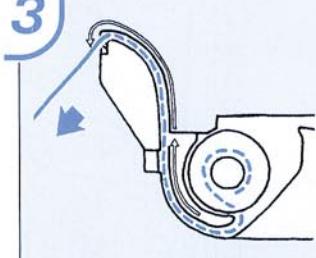


矢印の向きから糸が出るようボビンをセットします。
※専用ボビンをお使いください。

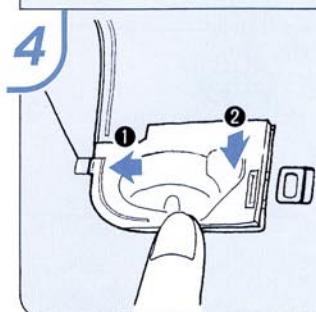
部品コード：X80309-001
ボビンが5個セットになっています。



糸端を持ち、ミゾにそって糸を引き出しながら通し、手前に引き、糸を切れます。

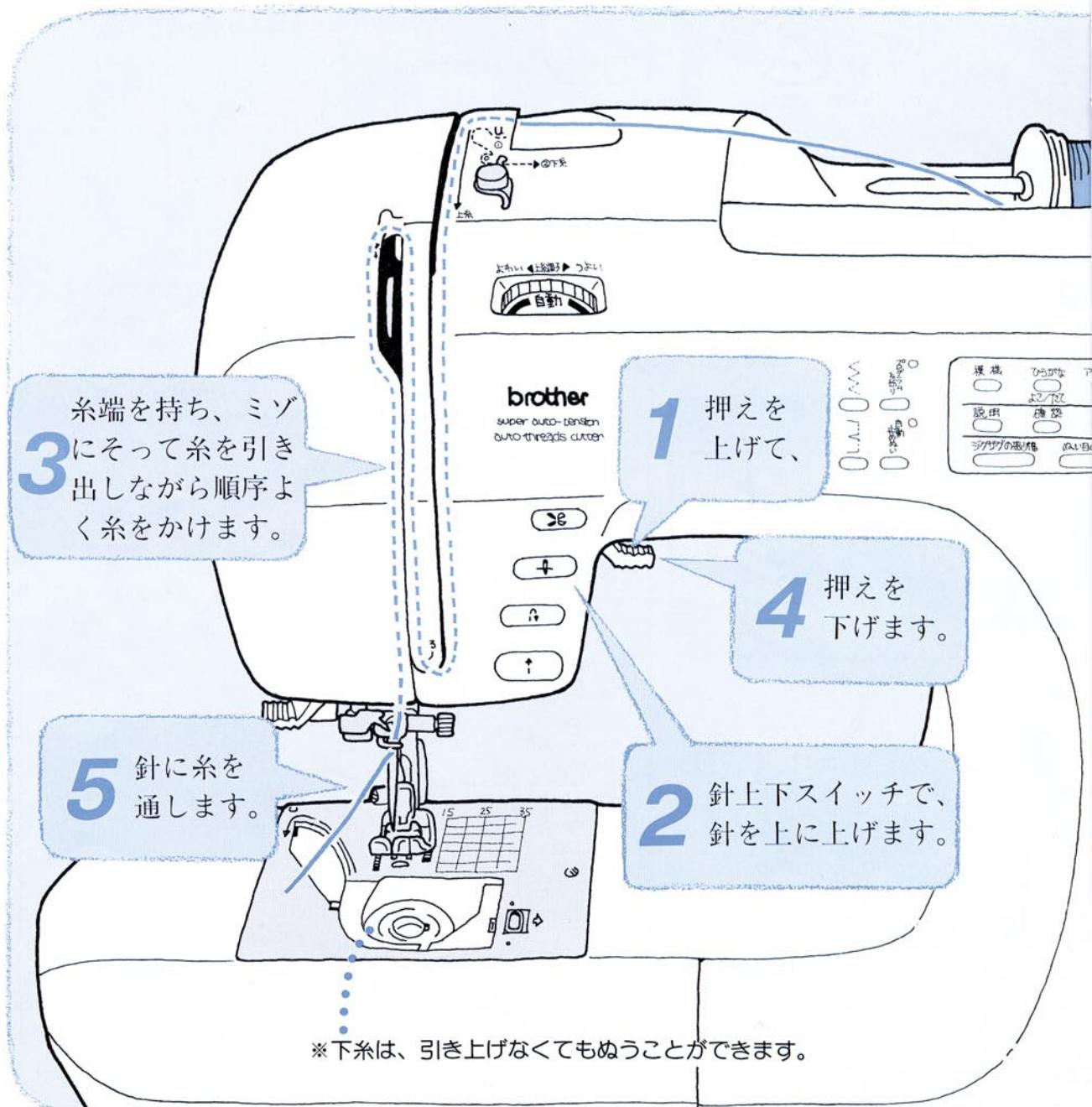


針板ふたをセットします。

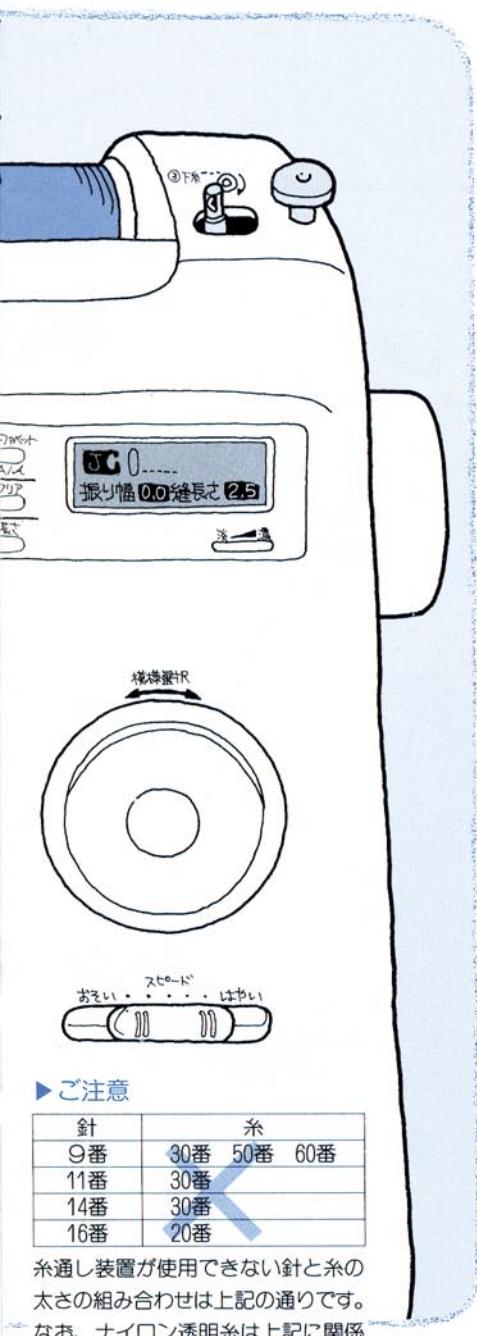


上糸通し

番号と矢印に従って糸を



かけます。

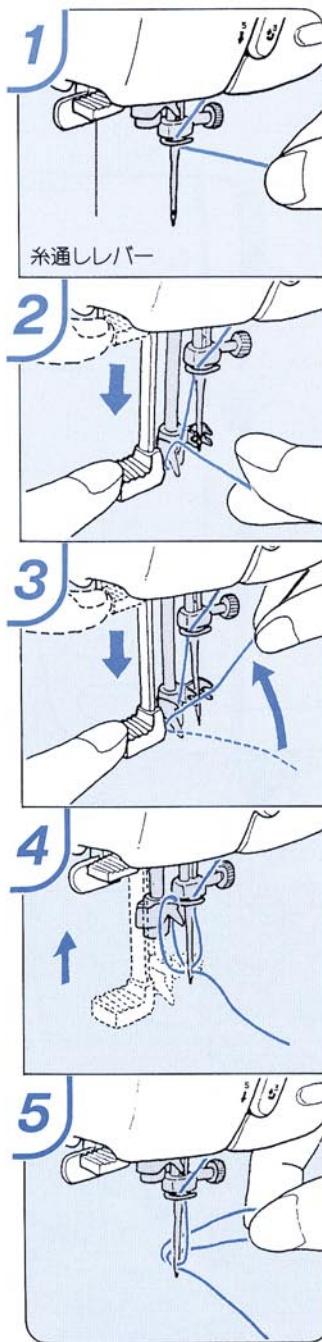


▶ご注意

針	糸
9番	30番 50番 60番
11番	30番
14番	30番
16番	20番

糸通し装置が使用できない針と糸の太さの組み合わせは上記の通りです。
なお、ナイロン透明糸は上記に關係なく、ミシン針14~16番の範囲内で
ご使用ください。

糸通し装置で 針に糸を通します。



糸を手前に軽く引きます。

糸通しレバーを下まで下げ、糸がガイドにかかっていることを確認して、針穴にフックが通った状態にします。

糸をフックにかけます。
・糸を手前に引き、フックにかかっているか確認してください。

糸を軽く持ちながら糸通しレバーを上げます。

上糸をうしろへ引き出します。

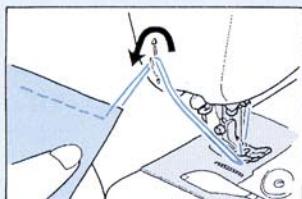
ぬってみましょう

布地を入れてぬってみま

4

糸を切ります。

※太い糸(30番以下)や特殊な糸は、図のようにして、糸を切って下さい。



2

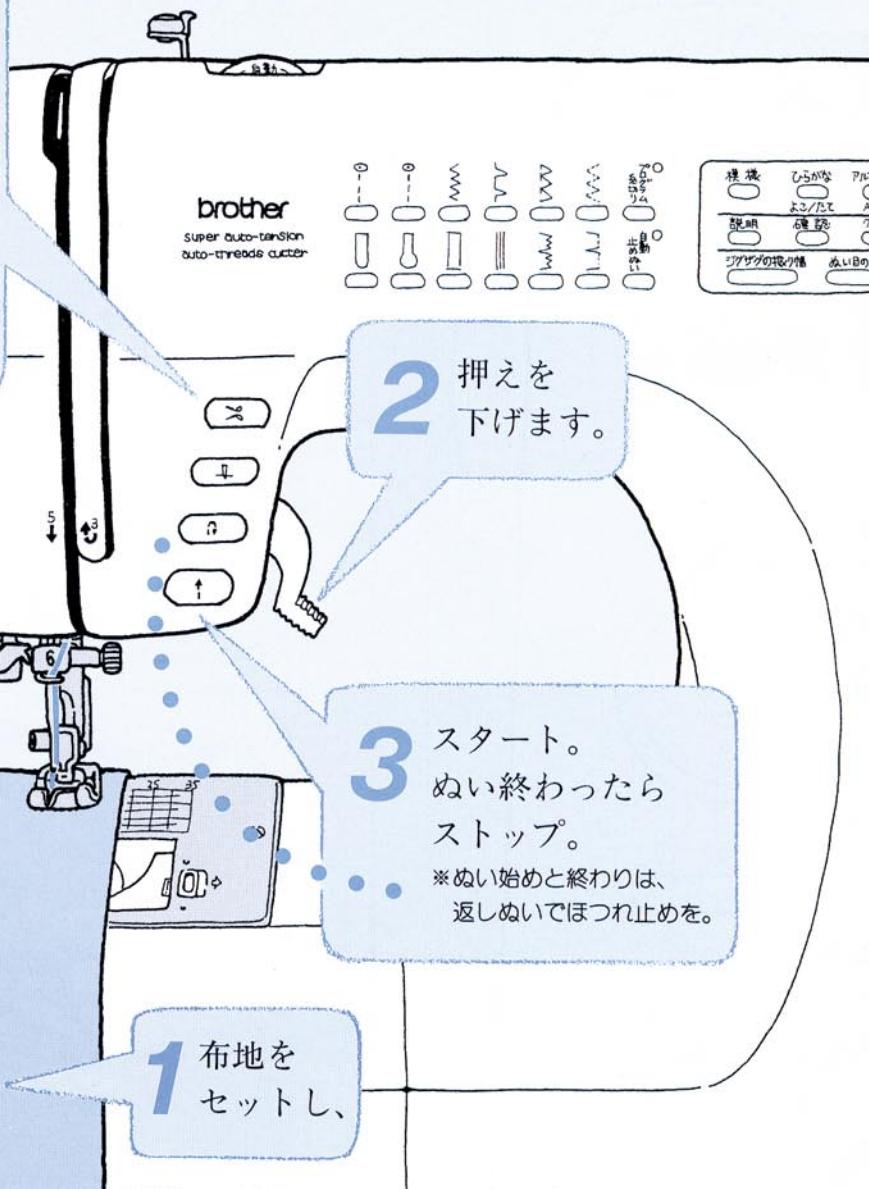
抑えを下げます。

3

スタート。
ぬい終わったら
ストップ。

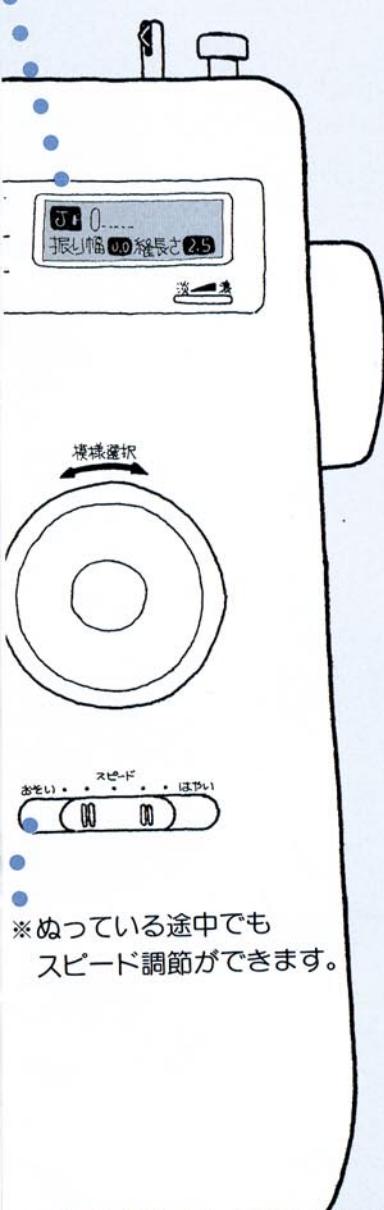
※ぬい始めと終わりは、
返しづいでほつれ止めを。

1

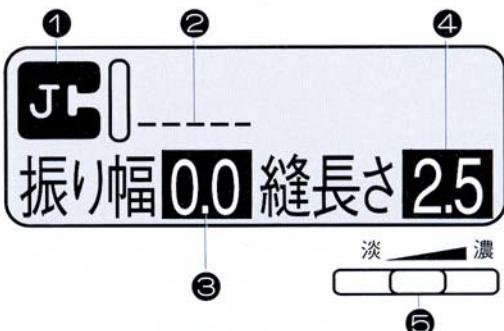
布地を
セットし、

しょう。

電源を入れると〈直線ぬい〉が表示されます。

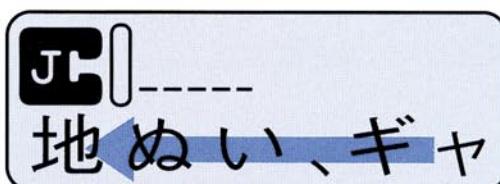
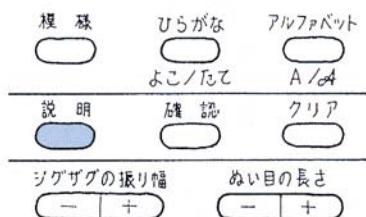


ディスプレイの見方



- ①押えの記号を表示します。
(この記号の押えに取り替えます。)
- ②指定した模様を表示します。
- ③ジグザグの振り幅または針位置を表示します。通常は白又キ文字で最適な振り幅が表示されます。マニュアル（指定した数値）にすると、指定した振り幅が黒文字で表示されます。
- ④ぬい目の長さを表示します。通常は白又キ文字で最適なぬい目の長さが表示されます。マニュアルにすると、指定したぬい目の長さが黒文字で表示されます。
- ⑤画面の濃さを調整します。

選んだ実用模様の用途を
知りたいときは、
説明キーを押します。



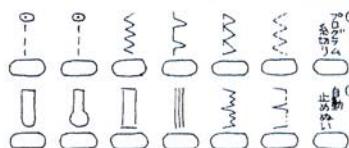
ディスプレイに内容がスクロール表示されます。

模様の選び方

模様選択ダイヤルとセットキー

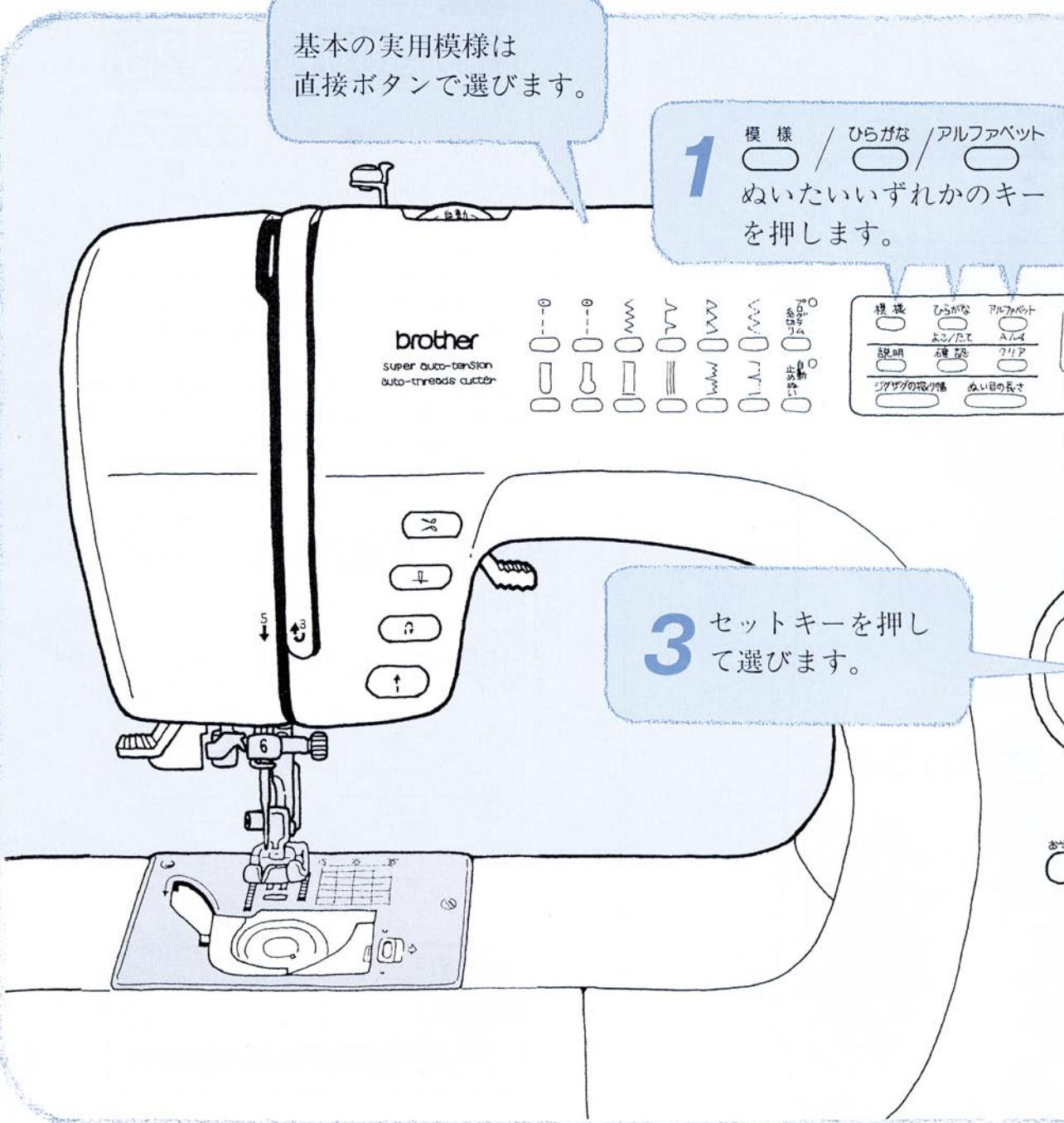
基本の実用模様は
直接ボタンで選びます。

- 1** 模様 / ひらがな / アルファベット
ぬいたいいいずれかのキーを押します。

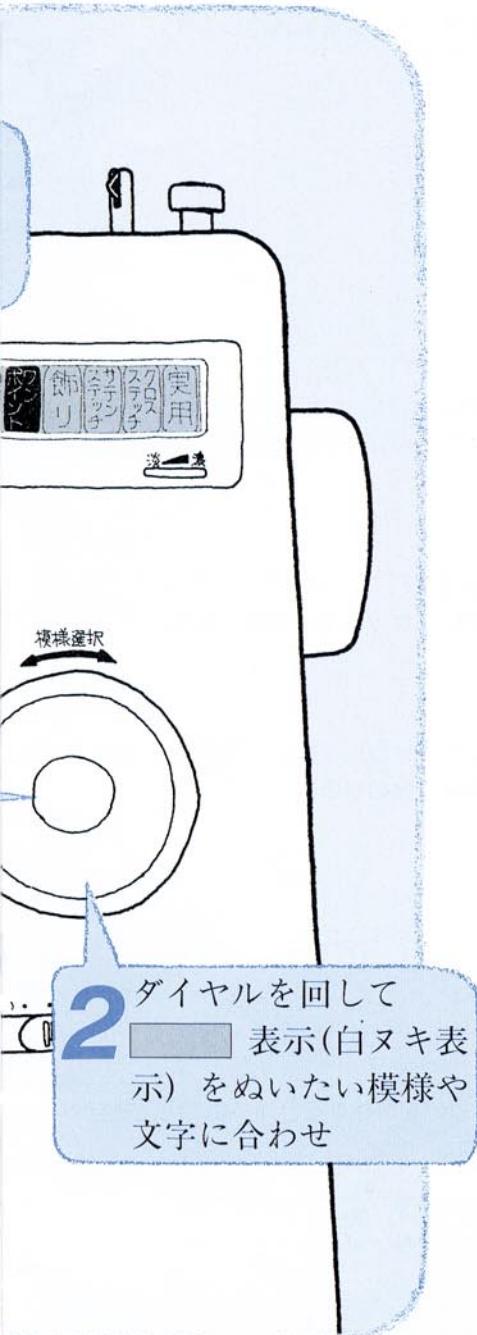


模様	ひらがな	アルファベット
○	よこひら	A/L
×	よこひら	ア/ア
△	よこひら	ア/ア
□	よこひら	ア/ア
△△	よこひら	ア/ア
△□	よこひら	ア/ア
□△	よこひら	ア/ア
△△△	よこひら	ア/ア
△△□	よこひら	ア/ア
△□△	よこひら	ア/ア
□△△	よこひら	ア/ア

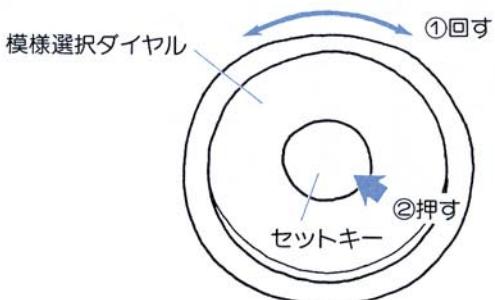
- 3** セットキーを押し
て選びます。



で簡単に選べます。

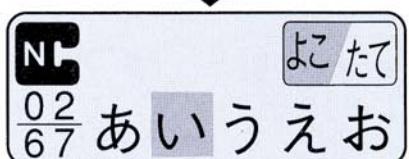
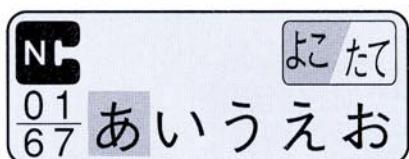


模様選択ダイヤルの使い方

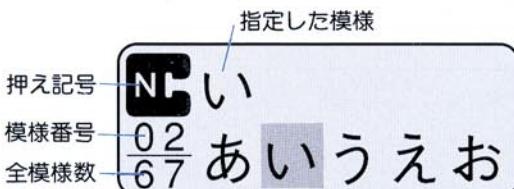


(例) ひらがな キーを押したとき

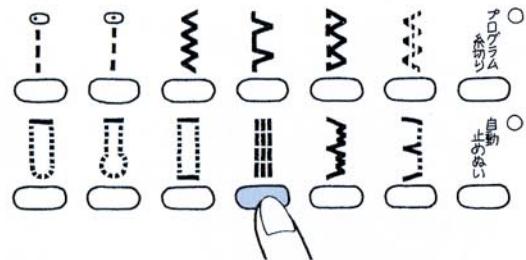
①ダイヤルを回すとディスプレイの [] 表示が移動します。 [] 表示をぬいたい文字や模様に合せます。



②セットキーを押すことによりその模様や文字が選れます。



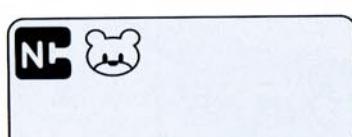
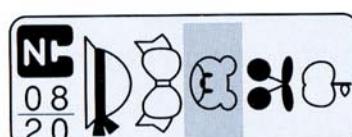
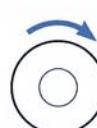
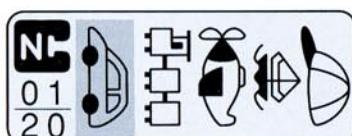
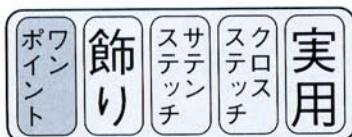
基本実用



ぬいたい模様のボタンを直接押します。

模様 (模様) キーを押します。

●ワンポイントの選び方(例)

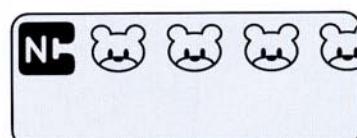


1 表示が [ワンポイント] にあることを確認し、セットキーを押します。

2 模様選択ダイヤルを回し、表示をぬいたい模様に合わせます。

3 セットキーを押します。

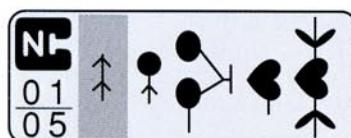
※自動止めぬいを解除すると連続縫いができます。
(P.24参照)



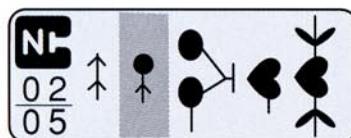
●飾りの選び方(例) ←



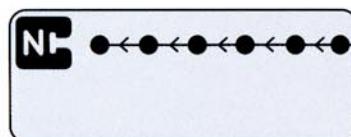
1 模様選択ダイヤルを回し、
[飾り] 表示を合わせてセットキーを押します。



2 模様選択ダイヤルを回し、
[飾り] 表示をぬいたい模様に合わせます。



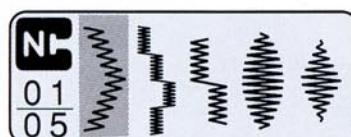
3 セットキーを押します。



●サテンステッチの選び方(例) ↗



1 模様選択ダイヤルを回し、
[サテンステッチ] 表示を合わせてセットキーを押します。

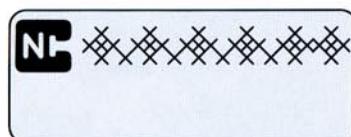
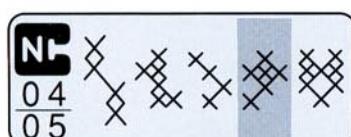
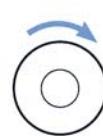
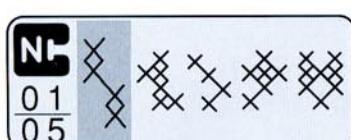
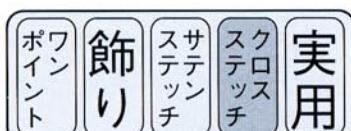


2 [サテン] 表示をぬいたい模様に合わせ、セットキーを押します。

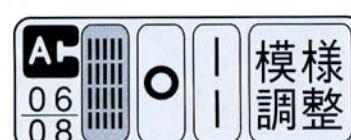
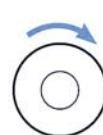
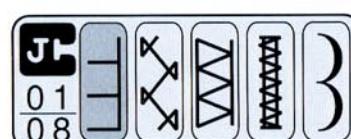


※振り幅、ぬい目の長さの調節 (P.19) 参照。

●クロスステッチの選び方(例) ✕



●実用の選び方(例) ⚰



1 模様選択ダイヤルを回し、■表示を「クロスステッチ」に合わせてセットキーを押します。

2 模様選択ダイヤルを回し、■表示をぬいたい模様に合わせます。

3 セットキーを押します。

*基本実用以外の実用模様 8 種類が模様選択ダイヤルで選べます。

1 模様選択ダイヤルを回し、■表示を「実用」に合わせてセットキーを押します。

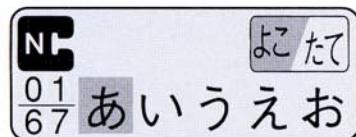
2 模様選択ダイヤルを回し、■表示をぬいたい模様に合わせます。

3 セットキーを押します。

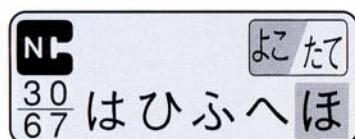
*振り幅、ぬい目の長さの調節 (P.19) 参照。

ひらがな

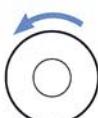
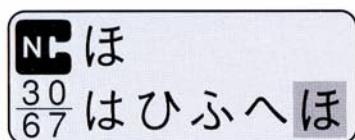
(ひらがな) キーを押します。



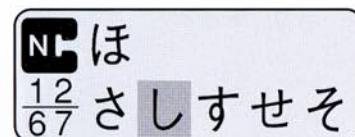
1 模様選択ダイヤルを回し、
[ほ] 表示を



2 セットキーを押します。



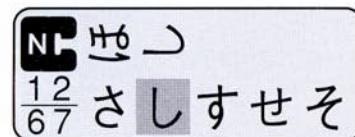
3 模様選択ダイヤルを回し、
[し] 表示を



4 セットキーを押します。

※組み合わせは35文字までできます。

〈よこがき／たてがき〉の切り換え



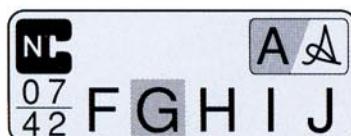
もう一度 (ひらがな) キーを押すと
〈よこがき／たてがき〉の切り換えができます。

アルファベット アルファベット キーを押します。

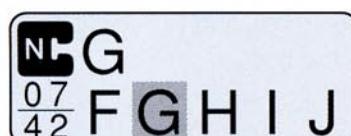
(例) "GO" と組み合わせてみましょう。



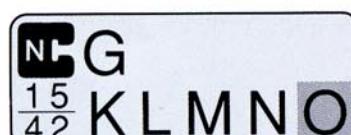
1 模様選択ダイヤルを回して G 表示を G に合わせます。



2 セットキーを押します。



3 模様選択ダイヤルを回して O 表示を O に合わせます。

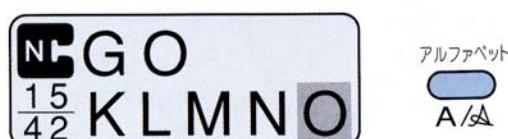


4 セットキーを押します。



※組み合わせは35文字までできます。

〈ブロック体／筆記体〉の切り換え

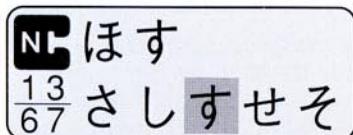


もう一度 アルファベット キーを押すと 〈ブロック体／筆記体〉 の切り換えができます。

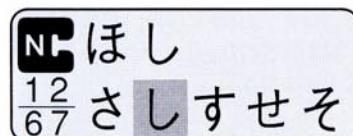
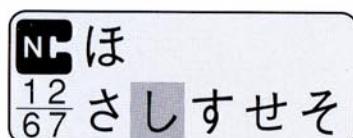
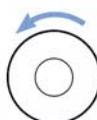
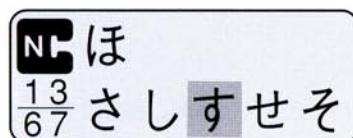


まちがえたとき

(例) “ほし”を“ほす”と入れたとき



クリア



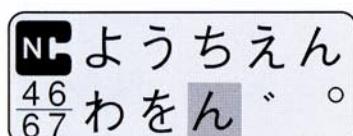
- 1 **クリア**キーを押します。
(まちがえた文字の数だけ **クリア**キーを押します。)

- 2 模様選択ダイヤルを回し、**表示**を正しい文字に合わせ直します。

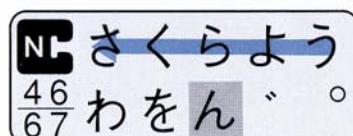
- 3 セットキーを押します。

組み合わせた文字を確認したいとき

(例) “さくらようちえん”と入れたとき



左のように表示されます。



確認

確認キーを押すと組み合わせた文字を始めからスクロールしながら表示します。

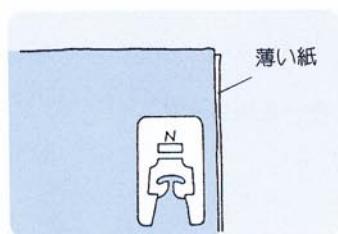
文字や模様をきれいにぬうためには

■ 針と糸の関係

(糸の種類)	50~60番
(針の種類)	普通地・薄地 家庭用ミシン針 (HAX×1) 11番 プラザーニット・刺しゅう用ゴールデン針11番 厚地 家庭用ミシン (HAX×1) 14番

※薄地や伸縮地などで目飛びの生じやすい布地にはプラザーニット・刺しゅう用ゴールデン針の使用をおすすめします。

■ ぬいにくい布地のとき



伸びる布地や薄地、織りの粗い布地にぬうときは、裏側に接着芯を貼ってください。
※接着芯を貼りたくないときは、トレーシングペーパーなどの薄い紙を下に敷いてぬいます。

■ ぬい終わったら



ぬい終わつたらいらない糸 (渡り糸) を切ってください。
※ぬい始めとぬい終わりは自動的に止めぬいをします。

いろいろぬってみましょう



h. h



たくや
けんた
はるか

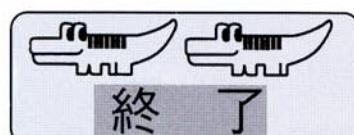
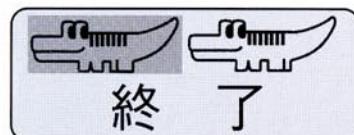
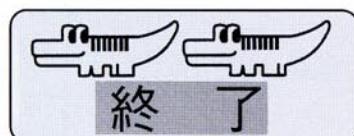
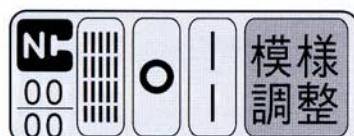
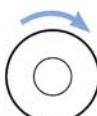
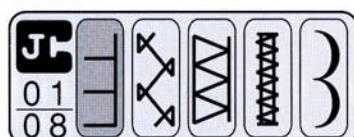
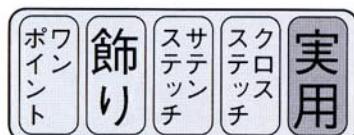
ゆう
こ



ICE CREAM

模様調整 (〔模様〕キーを押します)

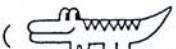
模様の形がくずれたときに調整します。

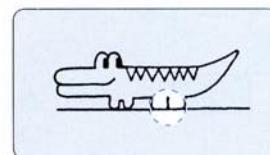


1 模様選択ダイヤルを回して **実用** 表示を
〔実用〕に合わせセットキーを押します。

2 模様選択ダイヤルを回して **模様調整** 表示を
〔模様調整〕に合わせます。

3 セットキーを押します。

4 <N> 押えを取りつけ、ぬいます。
( がぬえます)



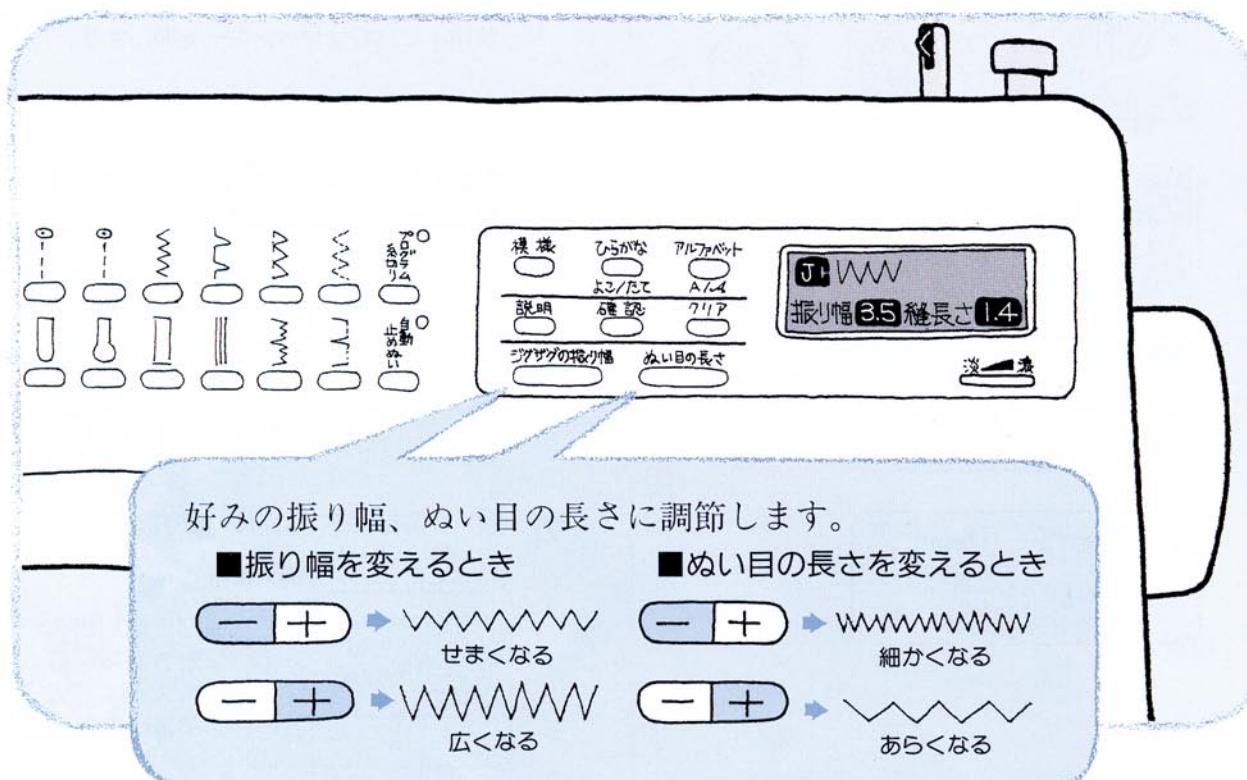
※ワニの足の大きさが同じに
ぬえるように
調整します。

5 ぬった模様がくずれていれば同じくずれか
たの絵にダイヤルを回して **模様** 表示を合
わせセットキーを1回押します。

6 もう一度縫製を行い模様がくずれていなけ
ればダイヤルを回し、〔終了〕に合わせセ
ットキーを押します。

振り幅、ぬい目の長さの調節

ぬい目を調節することができます。



■振り幅とぬい目の長さの調節早見表

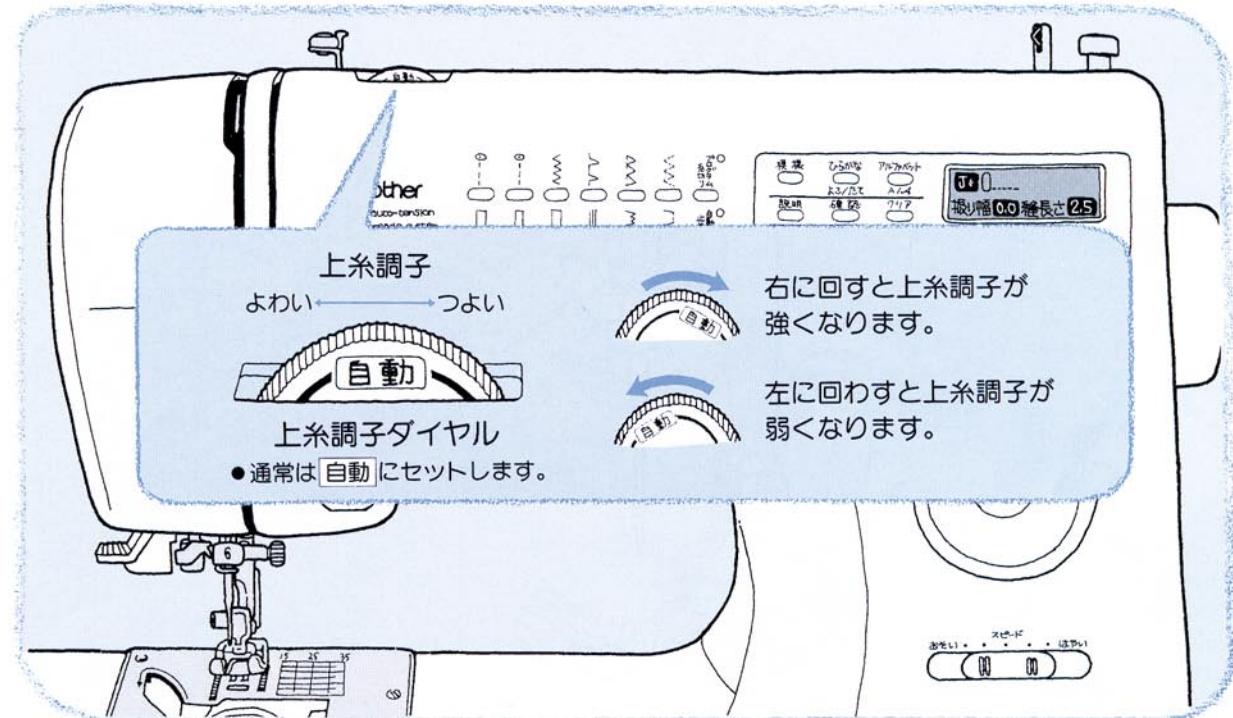
模様		直線 (左)	直線 (中)	ジグザグ	たちめ かがり	点線 ジグザグ	穴 かがり	ボタン ぬい	三重 ぬい	まつり ぬい	アップリケ	飾りぬい	つき合わせ	かんどめ	スカラップ	ダーニング	アイレット	しつけ	
振り幅	自動	(0.0)	—	3.5	3.5	5.0	5.0	5.0	7.0	5.0	(0.0)	0	0	3.5	5.0	5.0	2.0	7.0	7.0 (0.0)
	ミニユアル	0.0	—	2.5	2.5	2.5	1.5	3.0	3.0	3.0	0.0	3←	3←	2.5	2.5	2.5	1.0	2.5	5.0 0.0
	6.0	—	5.0	5.0	5.0	7.0	5.0	7.0	5.0	6.0	→3	→3	5.0	7.0	7.0	3.0	7.0	7.0 6.0	
ぬい目の長さ	自動	2.5	2.5	1.4	2.0	2.5	1.0	0.4	0.5	0.4	2.5	2.0	2.0	2.5	2.5	2.5	0.4	0.4	2.0 20
	ミニユアル	0.4	0.4	0.0	1.0	—	0.2	0.3	0.3	0.3	—	1.0	1.0	1.6	—	—	0.3	0.3	0.4 5.0 5
		4.0	4.0	2.0	2.5	—	1.4	1.0	1.0	1.0	—	3.5	3.5	2.5	—	—	1.0	1.0	2.5 7.0 30

* — は自動のため調節することはできません。

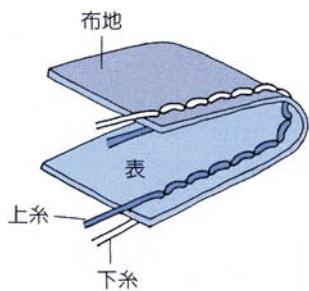
糸調子の合わせ方

糸調子を変えたいときに使います。

※通常、糸調子は布地や糸の種類に関係なく自動的に、調子が取れるようにセットされています。特殊な糸や素材をぬう場合やギャザーなどをする場合は、糸調子ダイヤルで調節します。また、サテンステッチをぬう場合は、上糸調子を弱くしてください。

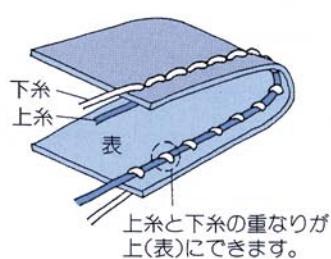


■正しい糸調子



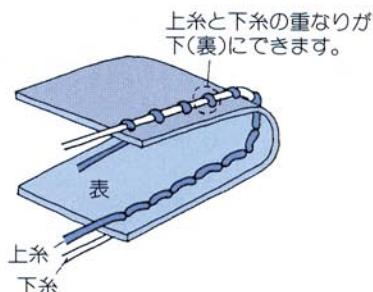
糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきたなく布地にしづかがよつたり糸が切れたりします。

■上糸調子を強くすると



上糸と下糸の重なりが上(表)にできます。

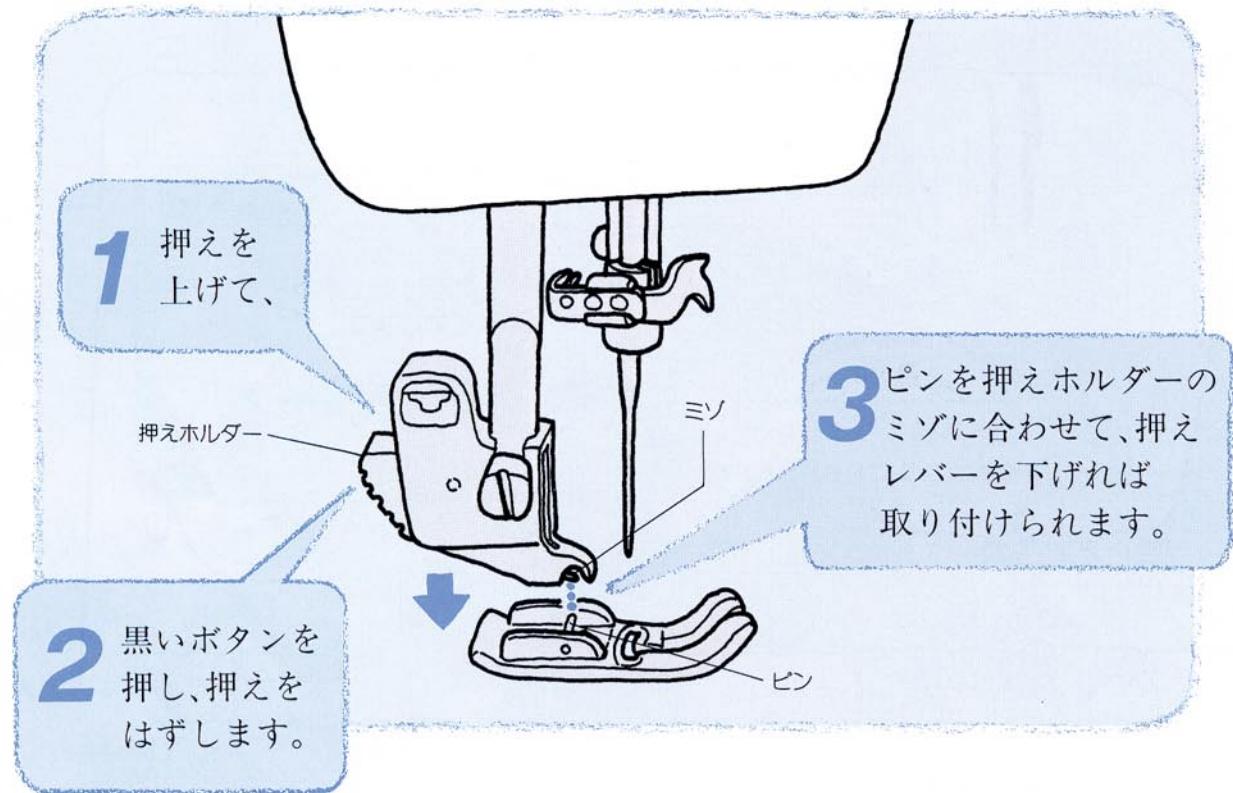
■上糸調子を弱くすると



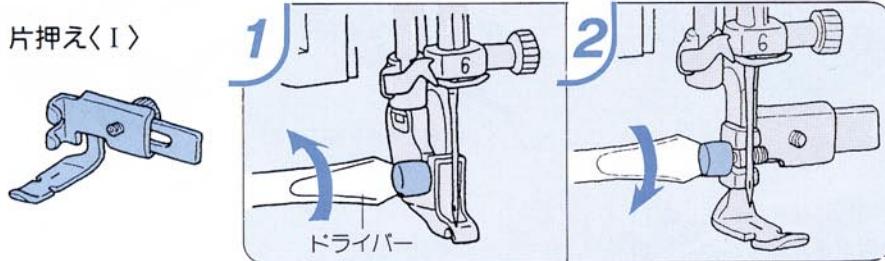
上糸と下糸の重なりが下(裏)にできます。

押え交換

ディスプレイに合わせた押えに取り替えましょう。



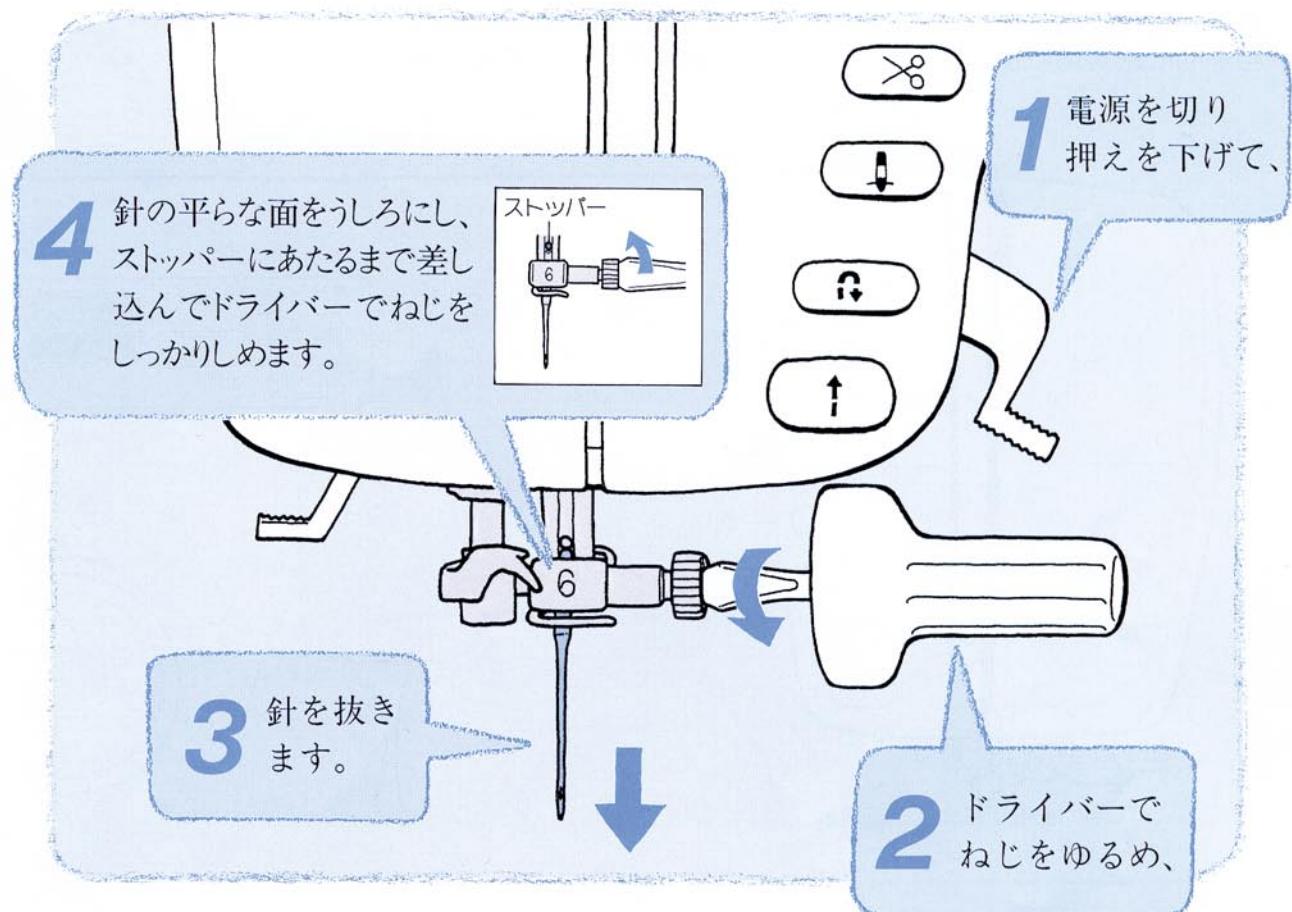
■片押え(I) の取り替え方



押えホルダーのねじをゆるめ、押えを取り替え、押えを下げる
状態でねじをしめます。

針交換

針はしっかりとねじをしめ、確実にとりつけましょう。

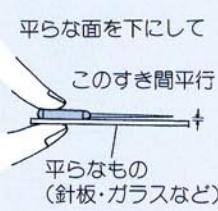


■布地と糸と針の選択早見表

布地の種類	普通地		薄地		厚地		のびる布地	ほつれやすい布地	ステッチ糸の場合		
	プロード	タフタ キャビン	フラン	ローン	ジュー ゼット	ポーラ	テニム ユロイ	コート ツィード	ジャージ トリコット		
糸種類	カタン糸	合織糸	綿糸	カタン糸	合織糸	綿糸	カタン糸	合織糸	綿糸	合織糸	綿糸
太さ	60~80	60~80	50~80	60~80	60~80	50~80	40~50	50	50	50~80	50~80
針の太さ	11~14		9~11		14~16		ゴールデン針 11~14		9~14		14~16

*ゴールデン針は、模様ぬい及び伸縮性のある布地や目とびしやすい布地に効果があります。

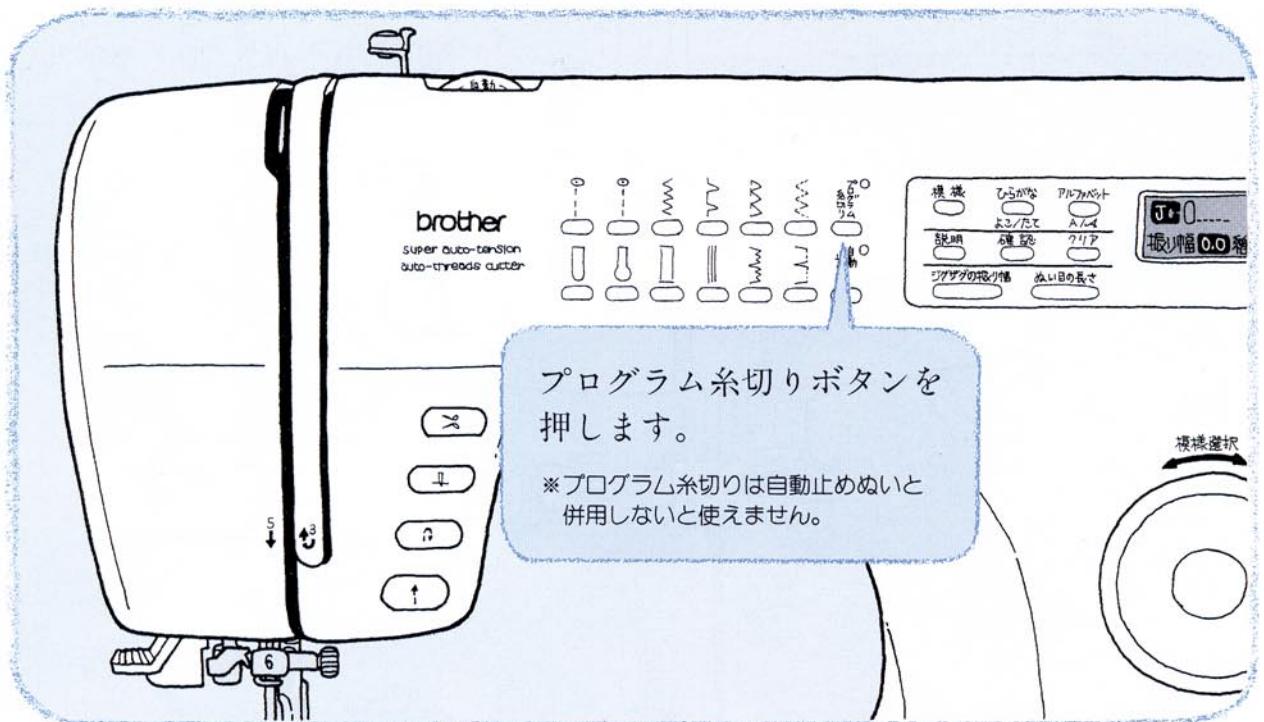
■正しい針の調べ方



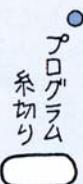
プログラム糸切り

自動的に糸を切れます。めんどうな糸始末が要りません。

あらかじめプログラム糸切りを設定しておくと、模様のぬい終わりで自動的に糸を切れます。(ぬい始めとぬい終わりは、止めぬいをします。)



■プログラム糸切りを解除するには



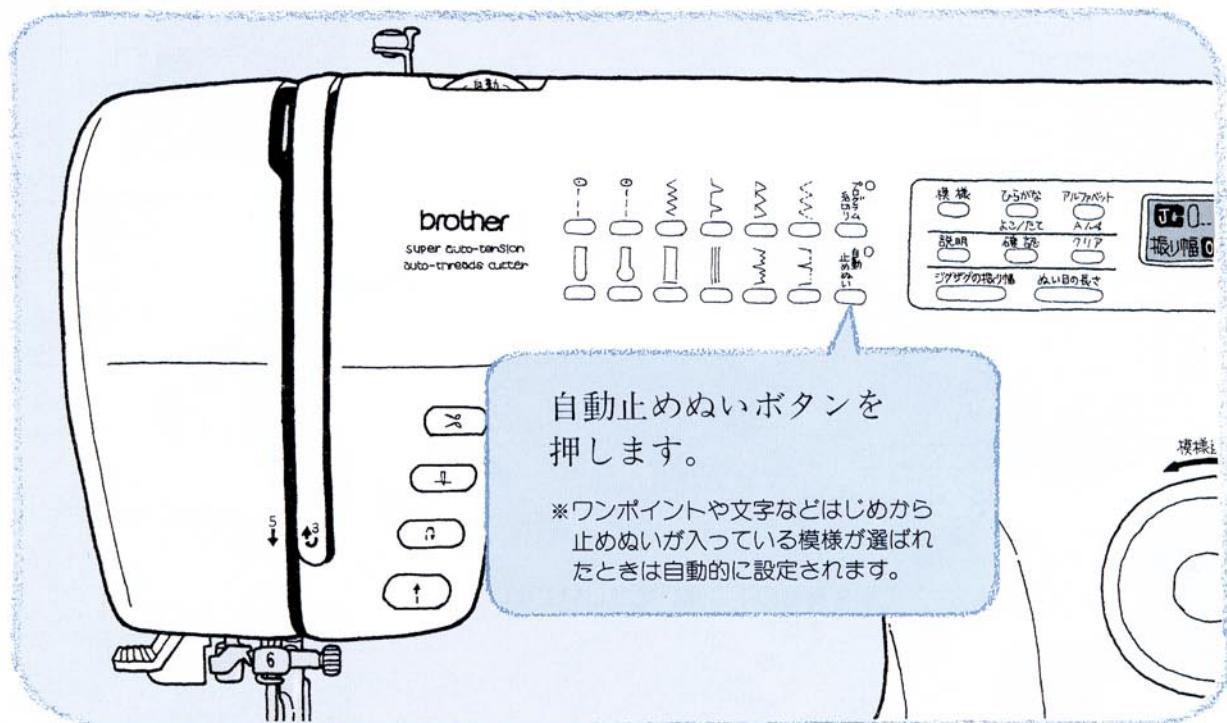
もう一度プログラム糸切りボタンを押すと、
ランプが消え、解除されます。

※ボタン穴カガリ、かんどめ、アイレット、ワンポイントなどをぬうときにプログラム糸切りを使うと便利です。

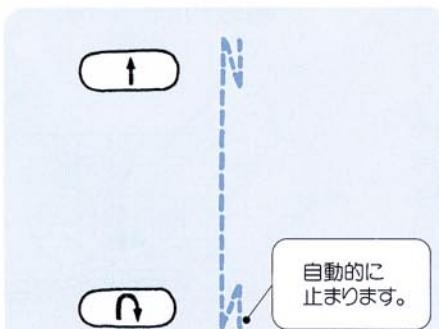
自動止めぬい

自動的にほつれ止めをします。

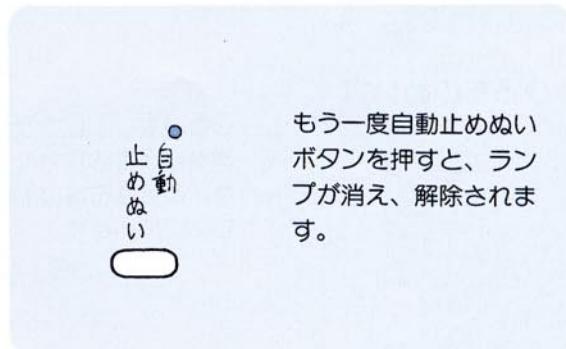
あらかじめ自動止めぬいを設定しておくと スイッチでほつれ止めをしてぬい始め、
 スイッチでほつれ止めをして自動的に止まります。



■ (例) 直線のとき



■ 自動止めぬいを解除するには



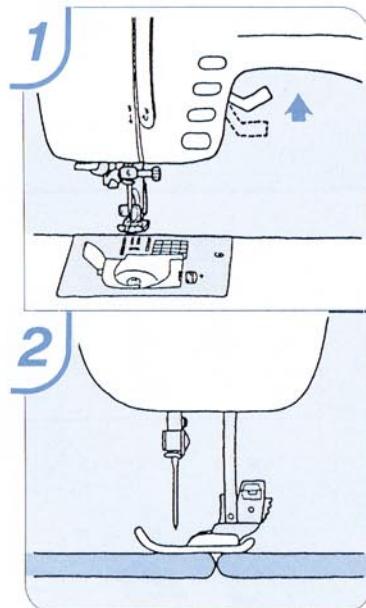
*直線（左基線、中基線）以外の模様は止めぬいをします。

ぬっている途中で一旦止め、再びスタートしてもほつれ止めはしません。

直線ぬいをしている途中で一度止め、次に スイッチを押した場合は、返しないをして自動的に止まります。

覚えておくと便利

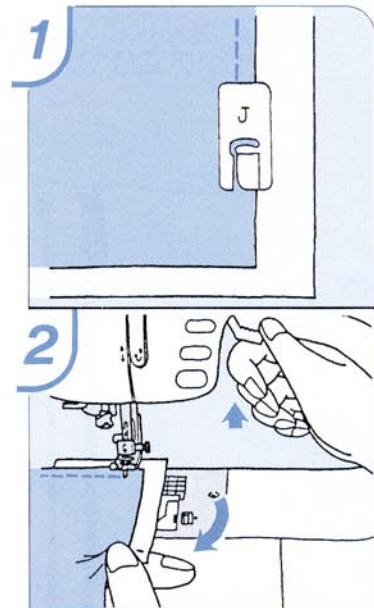
■厚地のぬい方



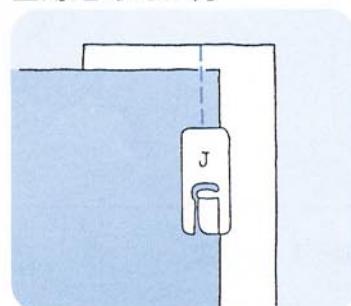
押えレバーをさらに上げると、押えがもう一段上がり、布地が入れやすくなります。

ぬい始めに布地が送らないときは押えの後ろに同じ厚さの布地をおいてぬいます。

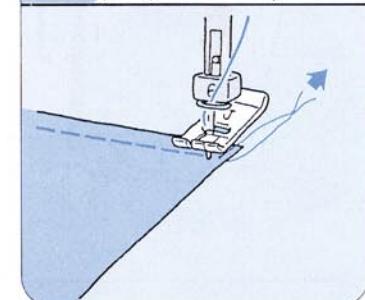
■角ぬい



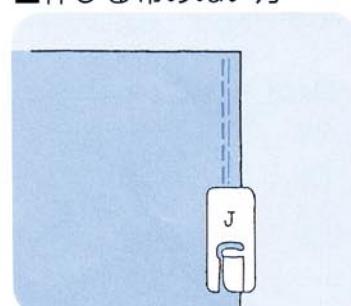
■薄地のぬい方



布地の下に薄い紙をしいてぬいます。

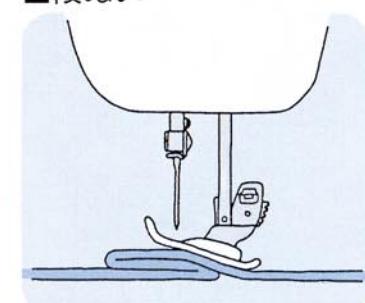


■伸びる布のぬい方



しつけをし、しつけのきわを布地を引っ張らないようにぬいます。または布地の下に薄い紙をしいてぬいます。

■段ぬい



※直線の場合は左基線でぬいます。

●薄い布地をぬう場合

薄い紙を下にしいてぬいます。

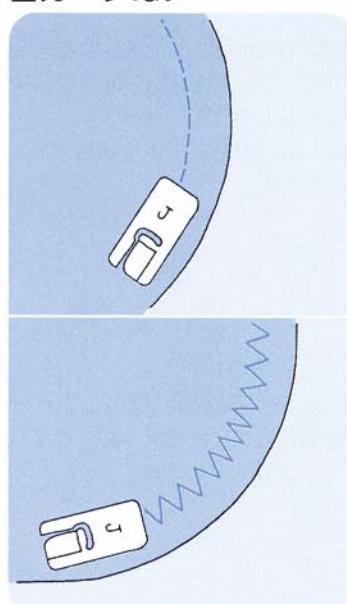
角まで来たら針を下げたまま押えを少し上げ、紙を持って回します。

●0.5cm以下のステッチでぬう場合

角部にしつけ糸をつけ、方向をかえたら糸を後ろへ引っ張りながらぬいます。

手で布送りを助けながら、布地を倒した方向にぬいます。

■カーブぬい



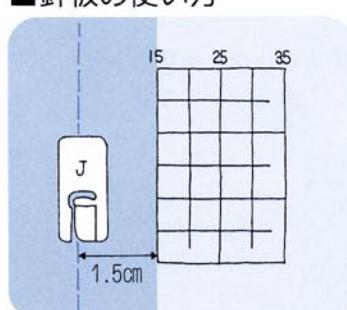
●直線の場合

ぬい目が布端と平行になるようにゆっくりとぬいます。

●ジグザグの場合

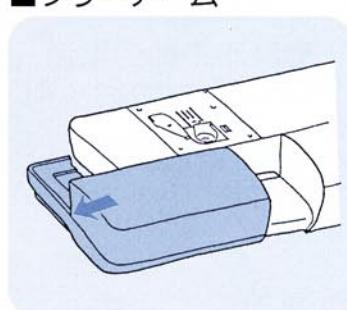
ぬい目を細かくしてぬうと、ぬい目がそろってみえます。

■針板の使い方



布端を針板の線に合わせてぬうとぬい幅がそろいます。

■フリーアーム



ズボンのすそ、カフスつけなど筒の部分をぬうときに便利です。

JL 0---- 0---- = = =

地ぬい

JL 0---- 振り幅0.0 縫長さ2.5

JL ----- 縫長さ2.5

JL = = = = = 振り幅0.0



1. () または () ボタンを押します。

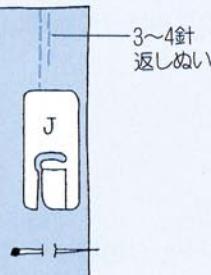


2. (J) 押えを取り付けます。

1

布地にしつけぬい、またはまち針を打ち、3~4針返しぬいをしてスタートします。

*返しぬいの分、布地は奥へ入れておきます。



2

ぬい終わりに近づいたら、スピードを落とし、返しぬいをしてストップします。



3

ぬい終わりは、糸切りスイッチを押して糸を切れます。

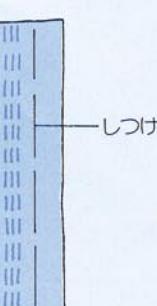


●ぬい目を丈夫にしたい場合・伸びる布地の場合

しつけをし、しつけのきわをぬいます。

*ぬい目の長さは変えられません。

*布地を引っ張らないようにぬってください。



■針位置を変えるには

ジグザグの振り幅
- +

針位置 0.0 針位置 3.5 針位置 6.0

ジグザグの振り幅 マニュアルスイッチの (-) または (+) を押して調節します。

*直線(中基線)のとき針位置は変えられません。

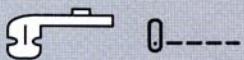
■ぬい目の長さを変えるには

ぬい目の長さ
- +

自動 2.5mm



ぬい目の長さ マニュアルスイッチの (-) または (+) を押して調節します。

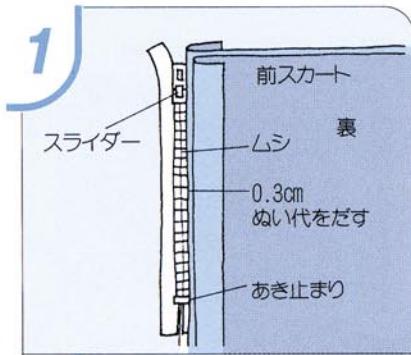


ファスナーツカ

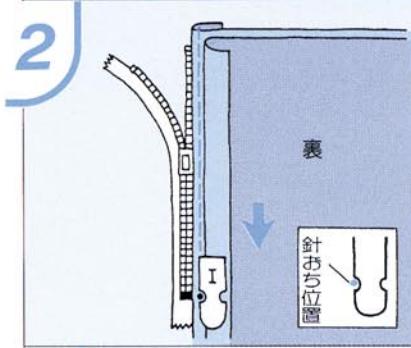
JL
振り幅0.0 縫長さ2.5



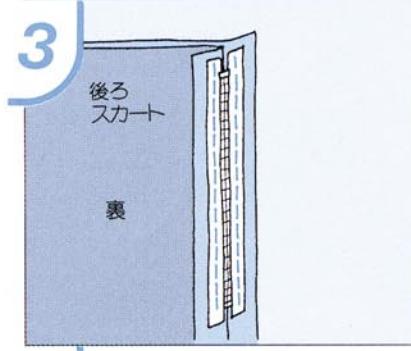
1. ボタンを押します。
2. <I> 押えを取り付けます。



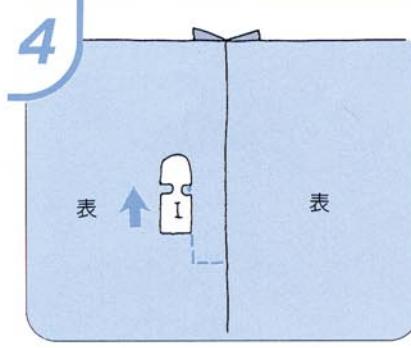
ぬい代をわり、後ろスカートのぬい代を0.3cm出して折り山をファスナーのムシのきわに合わせます。



<1> 押えを取り付け、抑えの後ろの調節ねじで針おち位置を調節し、あき止まりまでぬいます。

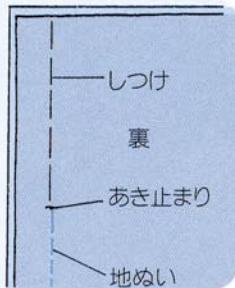


ファスナーを閉じて裏返し、もう片方のぬい代にぬいつけます。



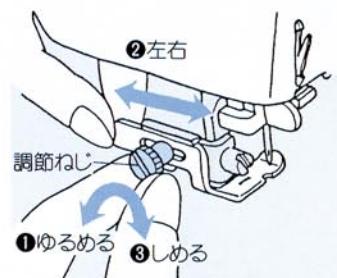
表に返し、ステッチをかけます。
※5cmほど手前までぬつたらミシンを止めてスライダーをずらし、残りをぬいます。

■準備

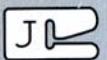


<J> 押えを取り付け、あき止まりまでは地ぬいをし、あきの部分にはしつけをしておきます。

■針おち位置を変えるには



※ブーリーを回して針が押さえに当たらないことを確認します。



振り幅3.5 縫長さ1.4



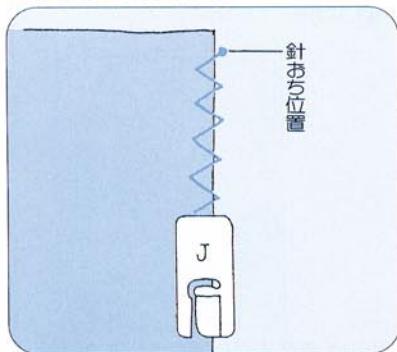
1. ボタンを押します。

2. <J> 押えを取り付けます。

ジグザグ

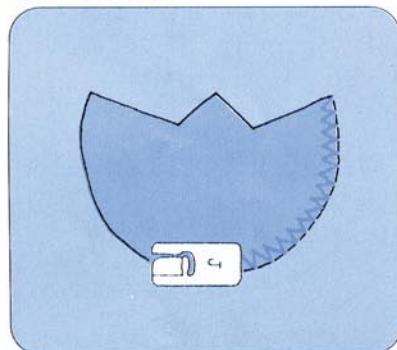
たちめかがり、アップリケ、パッチワークなどに用います。

●たちめかがり



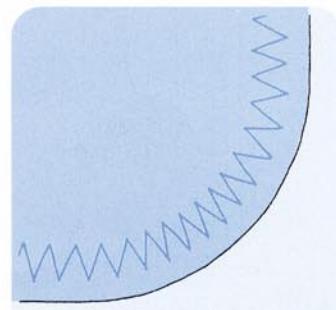
針を布端より外側におとしてねい
ます。

●アップリケ



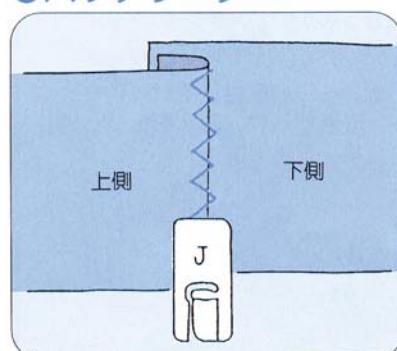
アップリケ布をのりづけ、または
しつけをしてねいります。
※針をアップリケ布の端より少し外
側へおとしてねいります。

■カーブぬいの場合

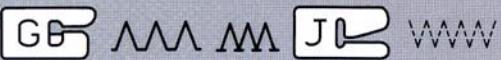


ぬい目を細かくぬうと、ぬい目
がそろってみえます。

●パッチワーク



上側の布地の端を折り、下側の布
地に重ねて両方の布に模様がまた
がるようにしてねいります。



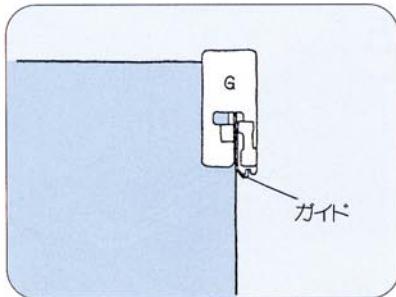
たちめかがり



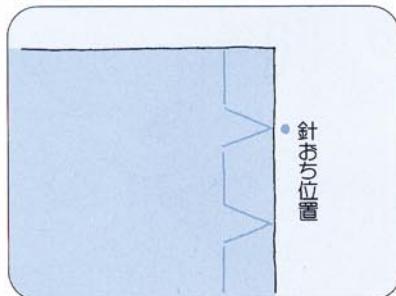
1. 、 または ボタンを押します。

2. <G> または <J> 押えを取り付けます。

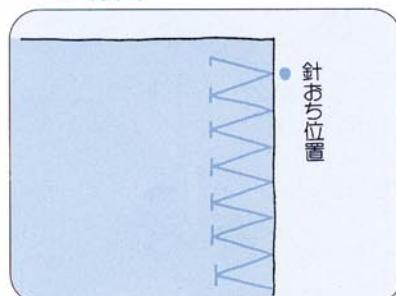
布端を抑えのガイドにあてながらぬいます。



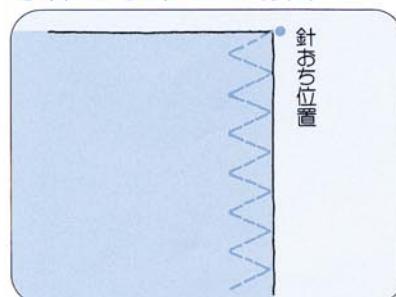
●薄地・普通地の場合



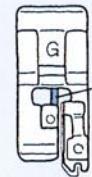
●厚地・ほつれやすい布地の場合



●伸びる布地の場合



<J> 押えを取り付け、針を布端より少し外側に落としてぬいます。



針が当たらないように

※振り幅を調節した場合は、針が抑えの中央ガイドに当たらな
いことを確認してください。



ボタン穴かぎり

ボタン穴の他、ひもやリボンを通す穴にも使えます。

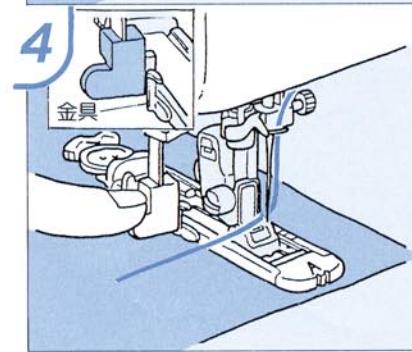
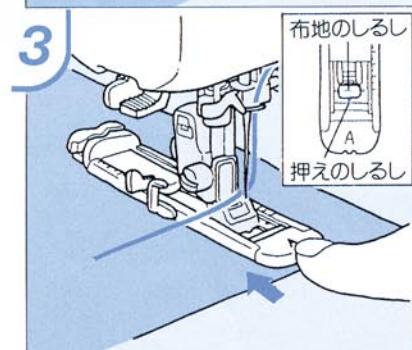
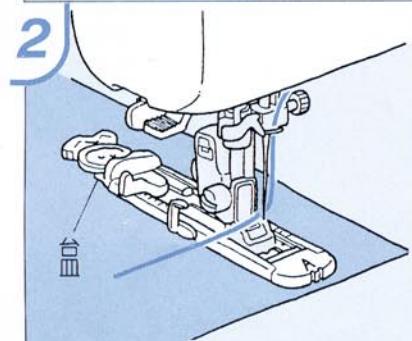
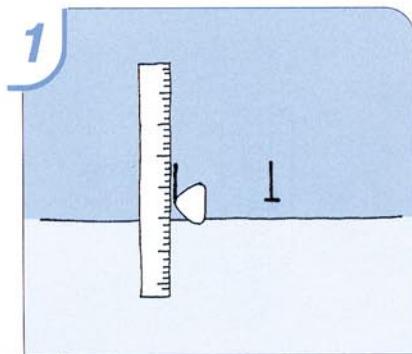
	A	
振り幅 5.0	縫長さ 0.4	
	A	
振り幅 7.0	縫長さ 0.5	
	A	
振り幅 5.0	縫長さ 0.4	

1.

または

ボタンを押します。

2. 〈A〉押えを取り付けます。



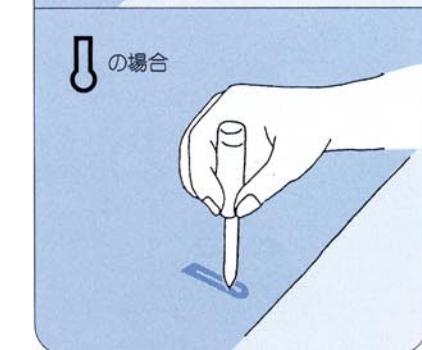
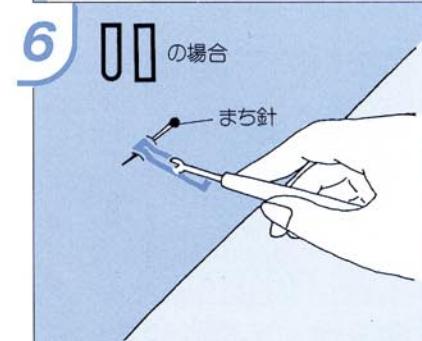
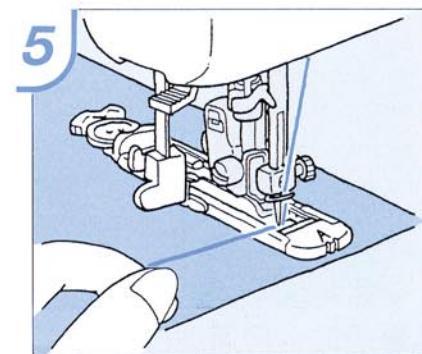
ボタン穴かぎりをしたい位置にしるしをつけます。

※(ボタンの直径+厚み)が3mmまでのボタン穴かぎりができます。

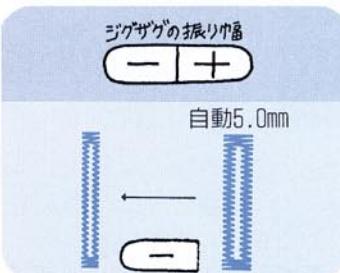
台皿を引き出し、ボタンをのせてはさみます。

押えの赤いしるしに布地のしるしを合わせて、押えを下げます。

ボタン穴かぎり用切換レバー（青いレバー）を金具の後ろに下げる。



■ぬい幅を変えるには



(ジグザグの振り幅) マニュアルスイッチの [−] または [+] を押して調節します。

上糸を持ってスタートします。

※手は布地にかかるくそえてください。

※ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。

※あらかじめプログラム糸切りの設定(P.23)をしておくとぬい終わりは自動的に糸を切れます。

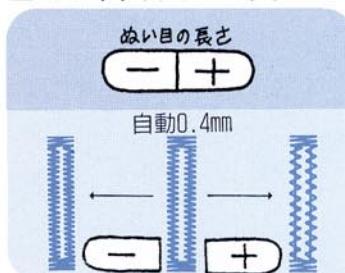
リッパーで開きます。

●ネムリ穴と両かんどめ穴の場合

●ハトメ穴の場合

ハトメ穴パンチでハトメに穴をあけてからリッパーで開きます。

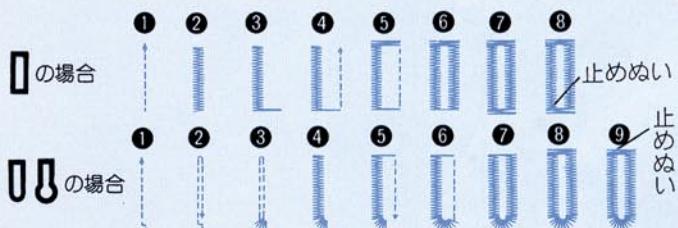
■ぬい目の長さを変えるには



(ぬい目の長さ) マニュアルスイッチの [−] または [+] を押して調節します。

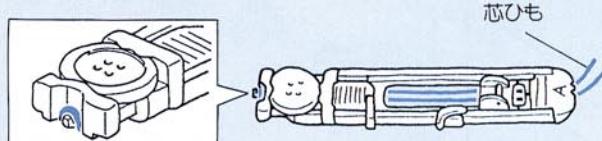
※ぬい目がつまる場合には [+] を押してぬい目をあらくします。

■ボタン穴かがりのぬわれていく順序



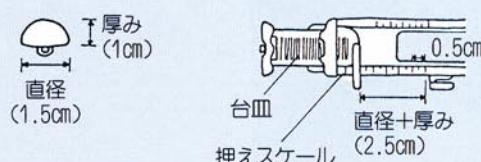
■のびる布地の場合

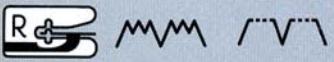
のびる布地にボタン穴かがりをするときは、ボタン穴かがりに芯ひもを入れてください。(ただし [] のみ)



■ボタンが台皿にのらない場合

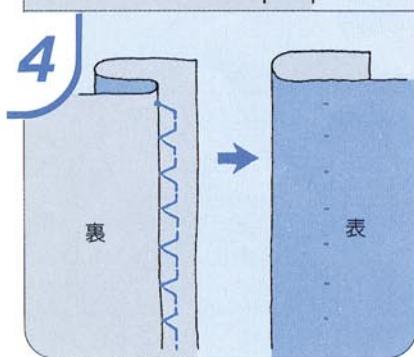
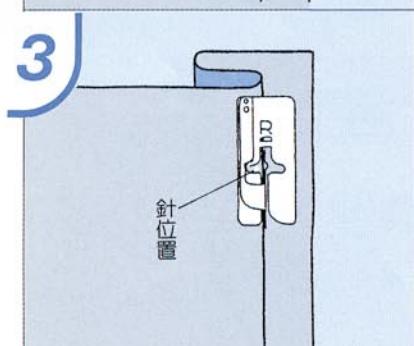
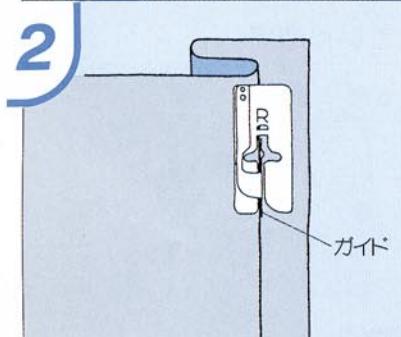
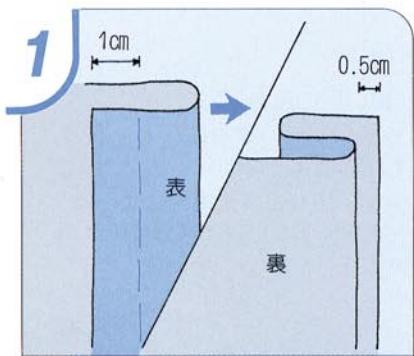
抑えスケールの目盛りにボタンの直径+厚みの寸法をセットします。
(例) 直径1.5cm、厚み1cmの場合、スケールを2.5cmにセットします。





まつりぬい

スカートなどのすそ上げに用います。



布地を折り、しつけをします。

ガイドに折り山を合わせて抑えを下げます。

針が折り山にかかる量を
ジグザグの振り幅 マニュアルスイッチで調節して折り山をガイドにあてながらぬいます。

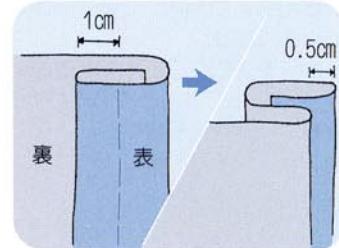
*伸びる布地の場合は MM でねいます。

表に返し、しつけをとります。

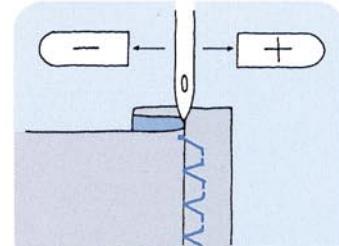


1. またはボタンを押します。
2. 〈R〉 押えを取り付けます。

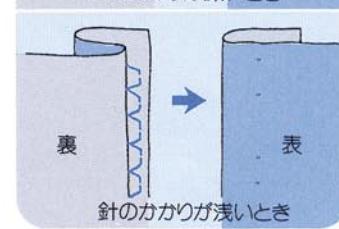
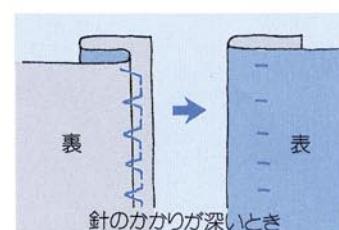
■薄地の場合の折り方

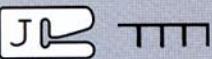


■針位置の合わせ方



ジグザグの振り幅 マニュアルスイッチの - または + を押して、布の折り山にわずかにかかるように調節します。





アップリケ

ボウ
イン
ント
飾
り
ス
テ
ン
チ
ス
ク
ロ
ッ
ス
チ
実
用



J
01
08
T
T
T
T



J
振
幅
3.5
縫
長
さ
2.5

1. 模様 キーを押します。

模様選択ダイヤルを回し、■表示を実用に合わせてセットキーを押します。

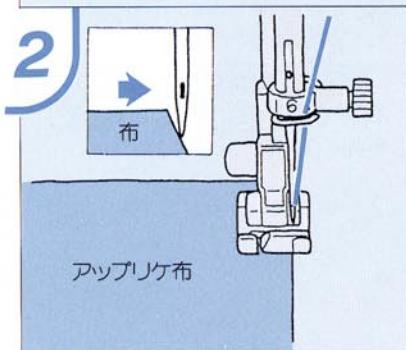
2. ■表示が TTT にあることを確認してセットキーを押します。

3. <J> 押えを取り付けます。



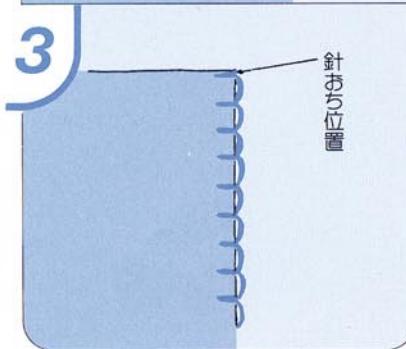
アップリケ布を止めます。

*アップリケ布がズレない程度にのりづけをするか、しつけをします。



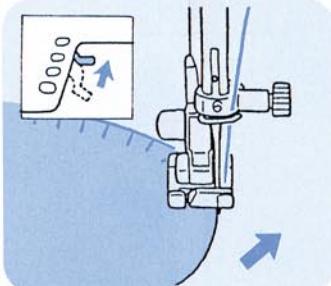
針おち位置と針が右にあることを確認して、ぬいいます。

*ぬい始めとぬい終わりの糸は止めぬいをするか、上糸と下糸をしっかりと結んでください。



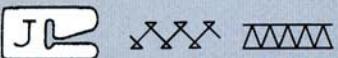
ぬい上がり

■急な角度をぬう場合



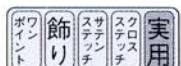
1 ミシンを止め、アップリケ布の右側に針を落とします。

2 押えを上げ、針を軸にして布地を回します。



飾りぬい(ファゴティング) つき合わせ

飾りや布地のつき合わせに使います。

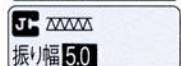


1. 模様 キーを押します。

模様選択ダイヤルを回し、 表示を
[実用] に合わせてセットキーを押します。

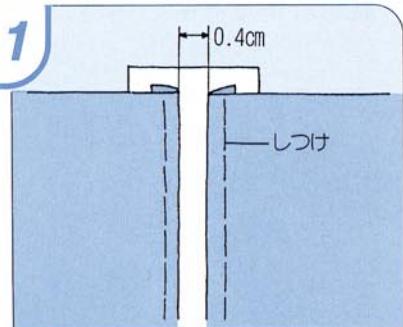


2. 模様選択ダイヤルを回し、 または
 を選んでセットキーを押します。

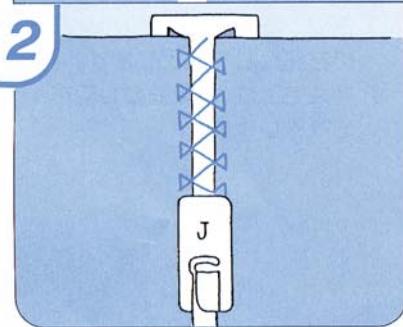


3. <J> 押えを取り付けます。

●飾りぬい(ファゴティング)



布地を薄い紙にしつけます。

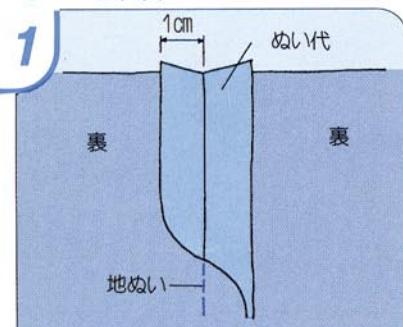


(ジグザグの振り幅) マニュアルスイッチで振り幅を最大にし、抑えの中心を布と布の間に中心に合わせてねいします。

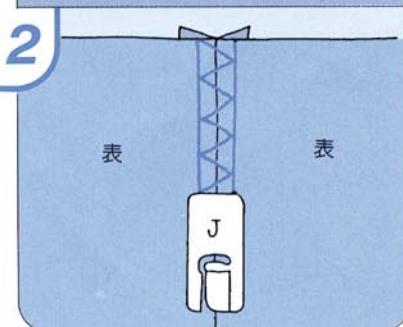
※糸は太番手のものを使ってください。

※ぬい終わつたら紙をはがします。

●つき合わせ



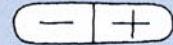
2枚の布を中表に合わせて地ぬいしたあと、ぬい代をわります。



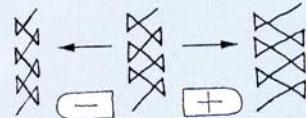
押えの中心を、布と布の間に合わせてねいします。

■ぬい幅を変えるには

ジグザグの振り幅



自動5.0mm



(ジグザグの振り幅) マニュアルスイッチの または を押して調整します。



スカラップ

ブラウスのえりなどのふち飾りに用います。

ボワ
イン
ント
飾
り
スサ
テ
ン
チ
ス
ク
ロ
フ
ス
チ
実
用

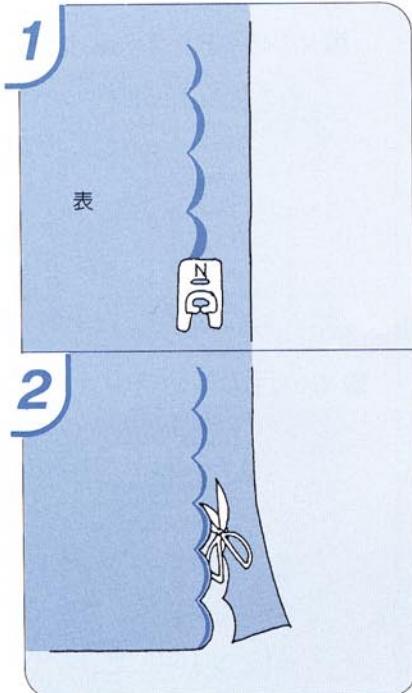


N
05
08
K
X
A
B



N
～
振
幅
7.0
縫
長
さ
0.4

1. 模様キーを押します。
模様選択ダイヤルを回し、表示を実用に合わせてセットキーを押します。
2. 模様選択ダイヤルを回し、を選んでセットキーを押します。
3. 〈N〉押えを取り付けます。

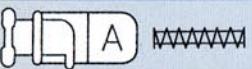


模様が布端にかかるないように端を残してねします。

糸をきらないようにぬい目にそつて布地を切ります。

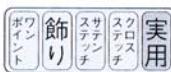


ブラウスのえりや、ハンカチなど
のふち飾りに用います。



かんどめ

ポケット口の補強などに使います。

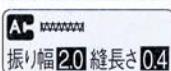


1. 模様キーを押します。

模様選択ダイヤルを回し、表示を実用に合わせてセットキーを押します。

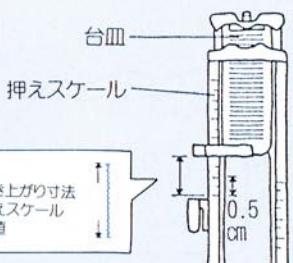


2. 模様選択ダイヤルを回し、 を選んでセットキーを押します。



3. 〈A〉押えを取り付けます。

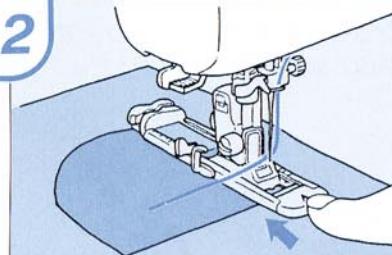
1



押えの目盛りでねう長さをセットします。

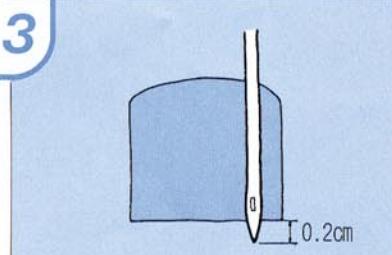
※0.5~3cmまでのかんどめができます。通常0.5~1cmの長さを使います。

2



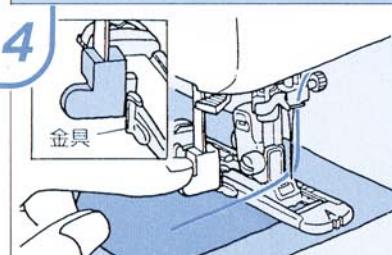
ポケット口が手前にくるように布地を置きます。

3



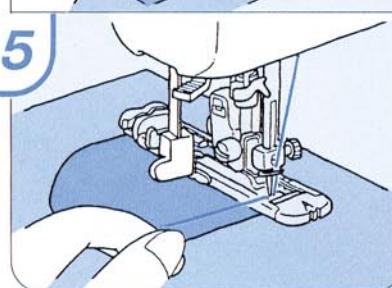
最初の針あち位置を確認して押えを下げます。

4



ボタン穴かがり用切換レバー（青いレバー）を金具の後ろに下げます。

5



上糸を持ってねいます。

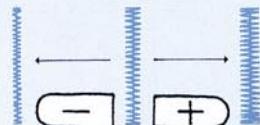
※ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。

※あらかじめプログラム糸切りの設定（P.23）をしておくとぬい終わりは自動的に糸を切れます。

■ぬい幅を変えるには

ジグザグの振り幅
- +

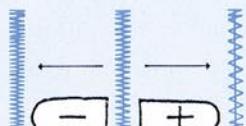
自動 2.0mm



■ぬい目の長さを変えるには

ぬい目の長さ
- +

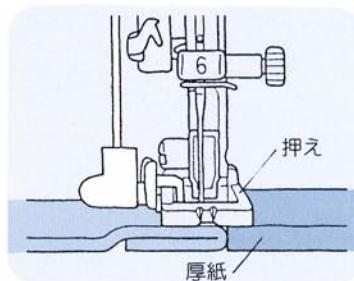
自動 0.4mm



(ジグザグの振り幅)マニュアルスイッチの [−] または [+] を押します。

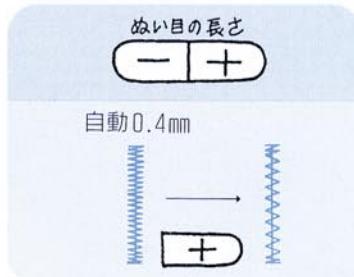
(ぬい目の長さ)マニュアルスイッチの [−] または [+] を押します。

■厚地の場合



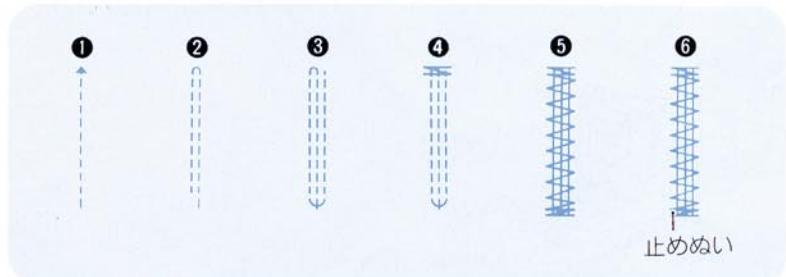
押えが水平になるように厚地、または厚紙を使います。

■ぬい目がつまる場合



(ぬい目の長さ)マニュアルスイッチの [+] を押してぬい目をあらくします。

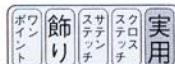
■かんどめのぬわれていく順序





ダーニング

つくりぬいなどに使います。

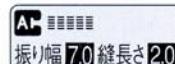


1. 模様キーを押します。

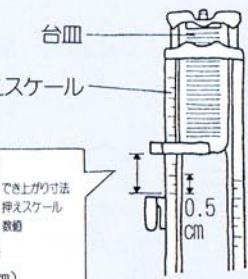
模様選択ダイヤルを回し、■表示を実用に合わせてセットキーを押します。

2. ■表示が ■ にあることを確認し、セットキーを押します。

3. <A> 押えを取り付けます。



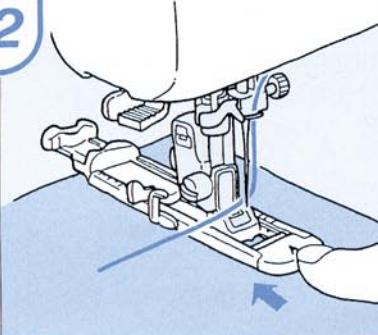
1



押えの目盛りでぬう長さをセットします。

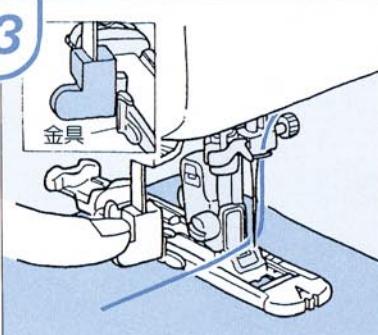
※最大長さ 3 cm のダーニングができます。

2



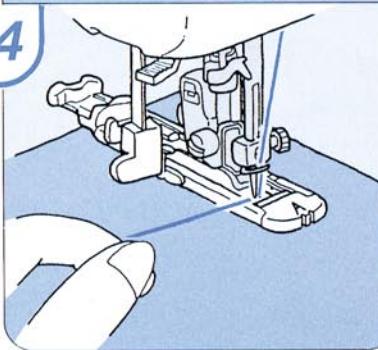
ぬう場所に押えを合わせ、押えを下げます。

3



ボタン穴かぎり用切換レバー(青いレバー)を金具の後ろに下げます。

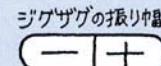
4



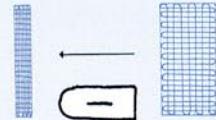
上糸を持ってぬいます。
※ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。

※あらかじめプログラム糸切りの設定(P.23)をしておくとぬい終わりは自動的に糸を切れます。

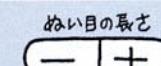
■ぬい幅をせまくするには



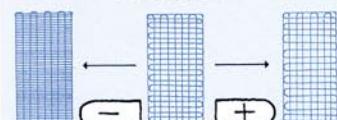
自動 7.0 mm



■ぬい目の長さを変えるには

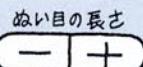


自動 2.0 mm

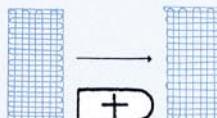


(ジグザグの振り幅) マニュアルスイッチの [-] を押します。

■ぬい目がつまる場合



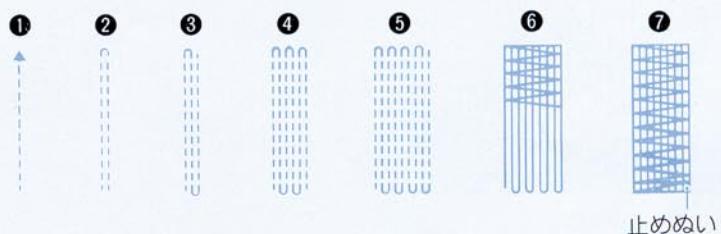
自動2.0mm

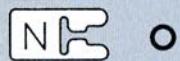


(ぬい目の長さ) マニュアルスイッチの [+] を押してぬい目をあらくします。

(ぬい目の長さ) マニュアルスイッチの [-] または [+] を押します。

■ダーニングのぬわれていく順序





アイレット

ベルトの穴かぎり等に使います。

ボワ
イン
ント
飾
リ
スサ
テロ
ンチ
スクリ
ップス
チ
実
用



J
C
0.7
0.8
模様
調整



N
○
振
幅
7.0
縫
長
さ
7.0

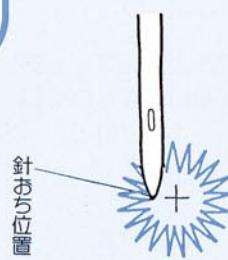
1. 模様キーを押します。

模様選択ダイヤルを回し、表示を実用に合わせてセットキーを押します。

2. 模様選択ダイヤルを回し、○を選んでセットキーを押します。

3. <N> 押えを取り付けます。

1



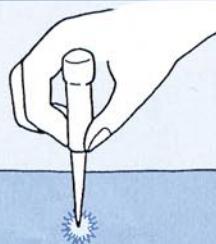
針おち位置を確認してぬいいます。

※ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。

※あらかじめプログラム糸切りの設定(P.23)をしておくとぬい終わりは、自動的に糸を切れます。

ハトメ穴パンチで穴を開けます。

2



■大きさを変えるには

実物大

自動



7.0



6.0



5.0

ジグザグの振り幅

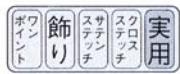
ぬい目の長さ

ジグザグの振り幅 マニュアルスイッチまたはぬい目の長さ

マニュアルスイッチの - または + を押します。



しつけ

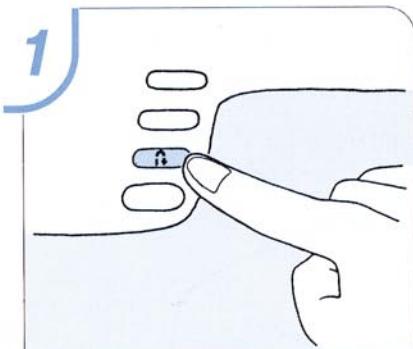


1. 模様キーを押します。

模様選択ダイヤルを回し、表示を実用に合わせてセットキーを押します。

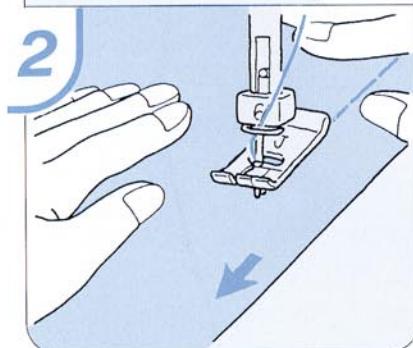
2. 模様選択ダイヤルを回し、一一を選んでセットキーを押します。

3. <J> 押えを取り付けます。



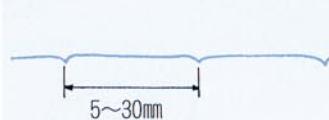
ぬい始めは返しぬいスイッチを押して止めぬいをします。

(自動止めぬいが設定されているときは、そのままスタートします。)



布地を張りながらぬいます。

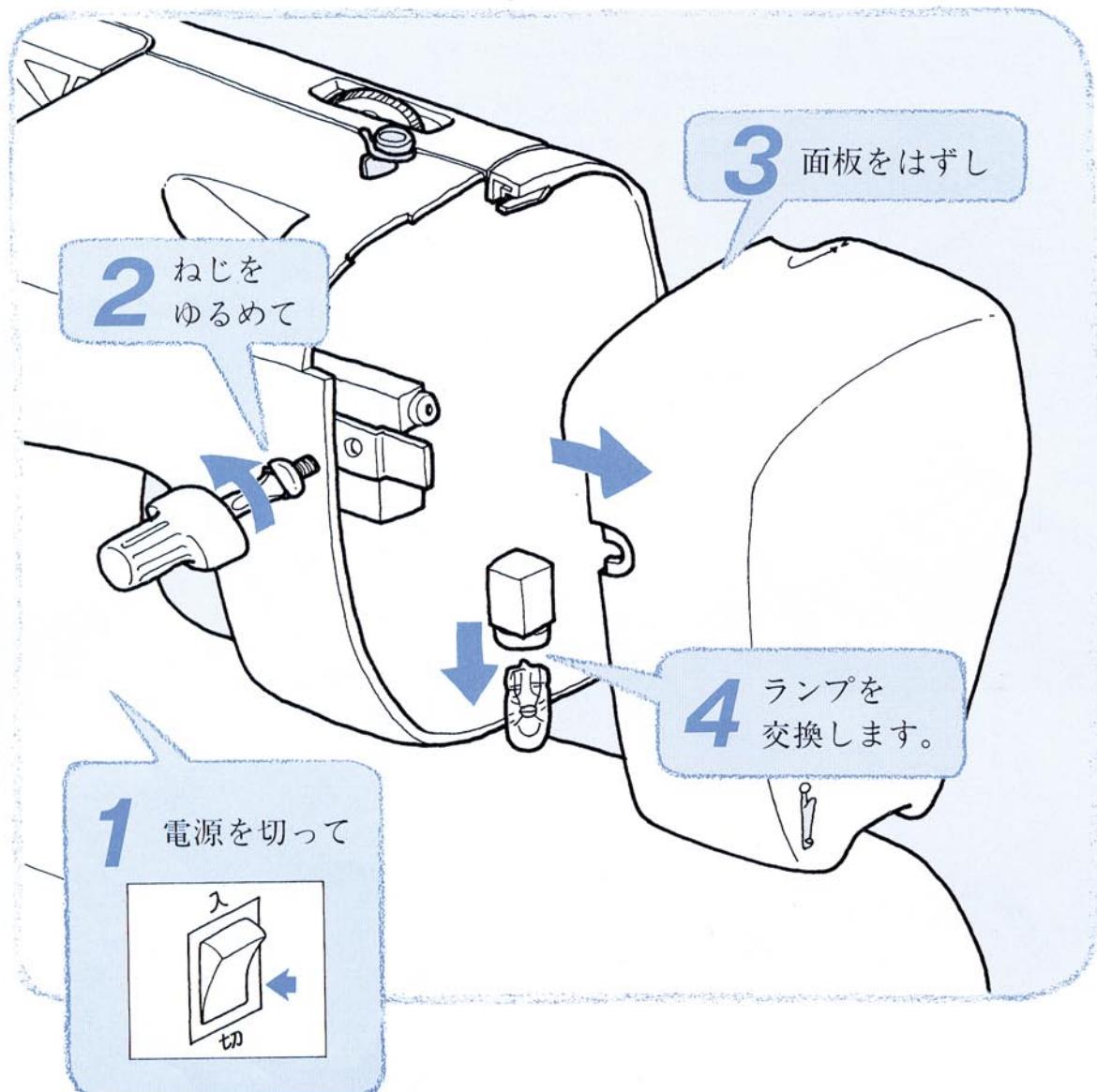
※ぬい終わりは止めぬいをします。



縫長さは5~30mmまで変えられます。

ランプの交換

ランプが切れたたら



*ランプ(8V、2.4W／部品コードX50228-001)は最寄りのブローチー販売店でお買い求めください。

お手入れ

いつも清潔にしておきましょう。

- 1** 電源スイッチを切ってから、押えホルダーと針をはずし、



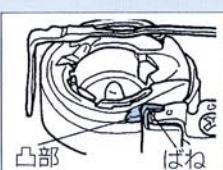
- 2** ねじをゆるめます。

- 3** 針板をはずします。

- 5** 付属のブラシや掃除機で外かまとその周辺の糸くずをとります。

- 4** 内かまを取り出しが

- 6** 内かまの凸部とばねを合わせて取り付けます。



*ほこりなどがたまる縫製不良の原因となります。

ぬい方早見表

模様の種類	基本実用											
	直線		ジグザグ	かがり目	ジ点線	ボタン		穴	三重ぬい	ぬい		
選択記号	□	□	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
押え記号	—	J	J	G	J	A	A	J	R			
主な用途	ミシン・ピンタックその他 フアスナー付けあとし 地ぬい ギヤザー ビンタック・その他	裁ち目カガリワーフークリアッソリ ケバツチワーフークリアッソリ 普通地・薄地の ほれ止め	厚地まつやすい布地 のほれ止め	伸びる布地のほれ止め ゴムひも付け	ボタン穴カガリ ボタン穴シャツなどの ボタン穴カガリ	ボタン穴カガリ ボタン穴カガリ ボタン穴カガリ	ボタン穴カガリ ボタン穴カガリ ボタン穴カガリ	地ぬい(ぬい目を丈夫に したいときなど)	伸びる布地の すそ上げ	スカートなどの すそ上げ		
返しない スイッチ	返	返	返	(返)	止	止	止			止	止	止
ジグザグ振り幅 マニュアルスイッチ	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ぬい目の長さ マニュアルスイッチ	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○
プログラム 糸切り	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞

模様の種類	模様												ひらがな	ルファベット
	ポイント	飾り	ステッチ	ステッチ	リップ	ぬ	合	ど	ラス	ニ	レ	しづ	ひらがな	ルファベット
模様の種類	ポイント	飾り	ステッチ	ステッチ	リップ	ぬ	合	ど	ラス	ニ	レ	しづ	ひらがな	ルファベット
押え記号	N	J	J	A	A	N	A	N	J	N	J	N	ひらがな	ルファベット
主な用途	模様ぬい	ワッペリケ	かうじめ	文字ぬい										
返しない スイッチ	止	止	止	止	止	止	止	止	止	止	止	止	止	
ジグザグの振り幅 マニュアルスイッチ	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
ぬい目の長さ マニュアルスイッチ	×	×	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×
プログラム 糸切り	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞

返……返しないスイッチを押している間、返しないができます。自動止めぬい設定時は後進3針、前進3針の往復ぬいをします。

(返)……返しないスイッチを押している間、返しないができます。自動止めぬい設定時は3針の止めぬいをします。

止……返しないスイッチを押している間、止めぬいを3針行つて止まります。自動止めぬい設定時は3針の止めぬいをします。

○……調節することができます。

×……自動のため調節することができません。

※……あらかじめプログラム糸切りの設定をしておくとぬい終わりは自動的に糸を切れます。

◎……あらかじめプログラム糸切りと自動止めぬいの設定をしておくとぬい終わりは自動的に止めぬいをして糸を切れます。

その他

エラー／メッセージ表示・電子音

ミシンが正しくセットされていない状態で、スタート／ストップスイッチ、返しぬいスイッチが押されたときやまちがった操作をしたときは、ミシンが運転されず、電子音とエラー表示をしてお知らせします。

●エラー表示

押えレバーを
下げて下さい

押えが上がった状態でスタート／ストップスイッチ・返しぬいスイッチ・糸切りスイッチを押したときに表示します。

青いレバーを
上げて下さい

ボタン穴カガリ用切換レバーが下がった状態でボタン穴カガリ押えを使用する模様以外の模様を選択し、スタート／ストップスイッチ・返しぬいスイッチ・糸切りスイッチを押したときに表示します。

青いレバーを
下げて下さい

ボタン穴カガリ用切換レバーが上がった状態でボタン穴カガリ押えを使用する模様を選択し、スタート／ストップスイッチ・返しぬいスイッチ・糸切りスイッチを押したときに表示します。(この場合ミシンが一回転だけ動きます。)

模様を選んで
下さい

模様が選択されていない状態でスタート／ストップスイッチ・返しぬいスイッチ・マニュアルスイッチ・自動止めぬいスイッチ・プログラム糸切りスイッチを押したときに表示します。

組み合わせが
一杯です

組み合わせ可能な数を越えたときに表示します。

安全装置がは
たらきました

糸がらみなどで、モーターがロックしたときに表示します。

コントローラ
ー使用中

別売りのフットコントローラーがついている状態でスタート／ストップスイッチを押したときに表示します。

変わりません

マニュアル調整のできない模様でマニュアルスイッチを押したときに表示します。

下糸巻軸を左
にして下さい

下糸巻きの軸を右にした状態で、返しぬいスイッチ・針上下スイッチ・糸切りスイッチを押したときに表示します。

●メッセージ表示

下糸巻中

下糸巻きの動作中に表示します。

●電子音

正しい操作をしたとき →1回 “ピッ”

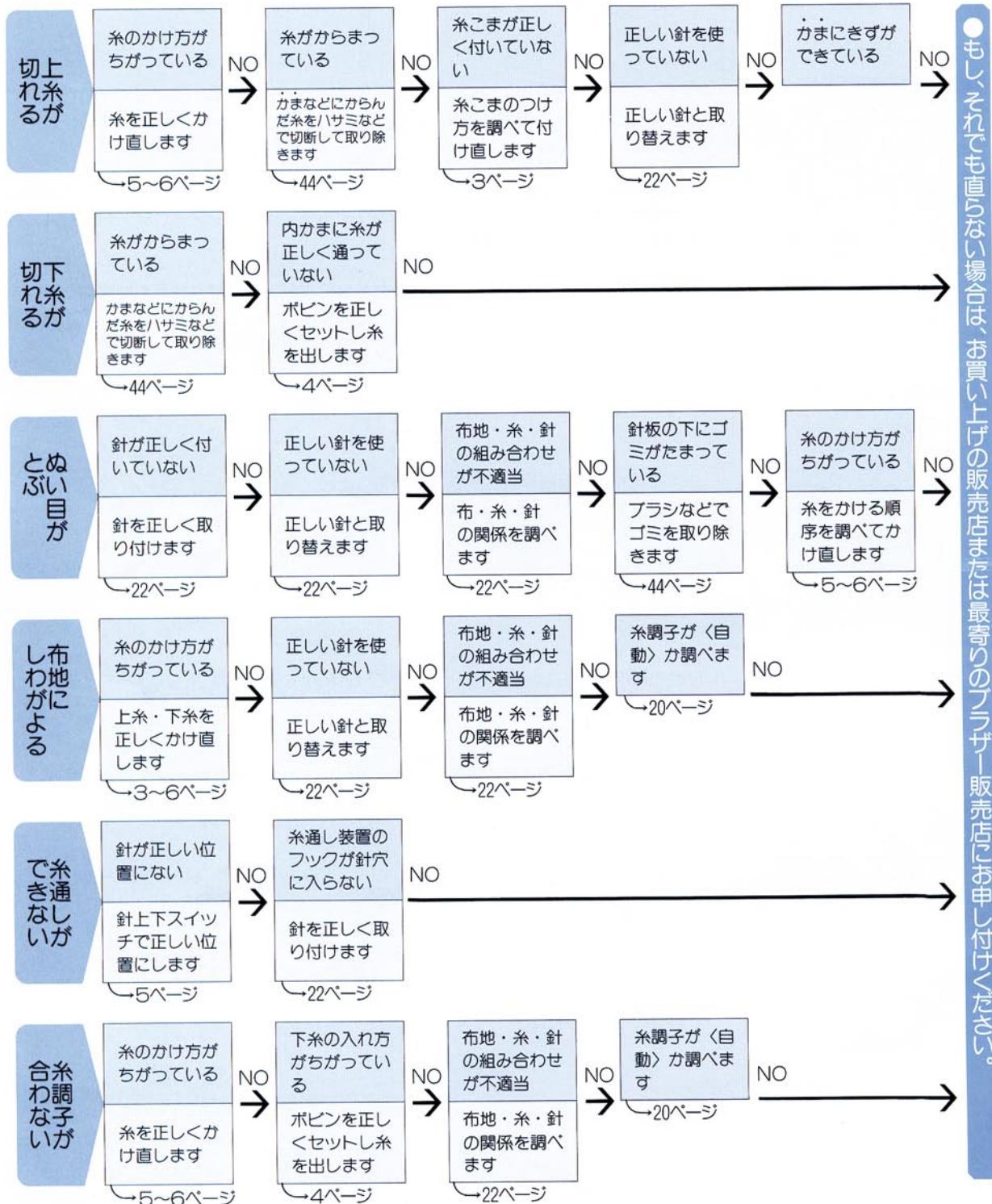
まちがった操作をしたとき →2回 “ピッピッ” または4回 “ピッピッピッピッ”

トラブルチェック

(簡単なミシンの調整)

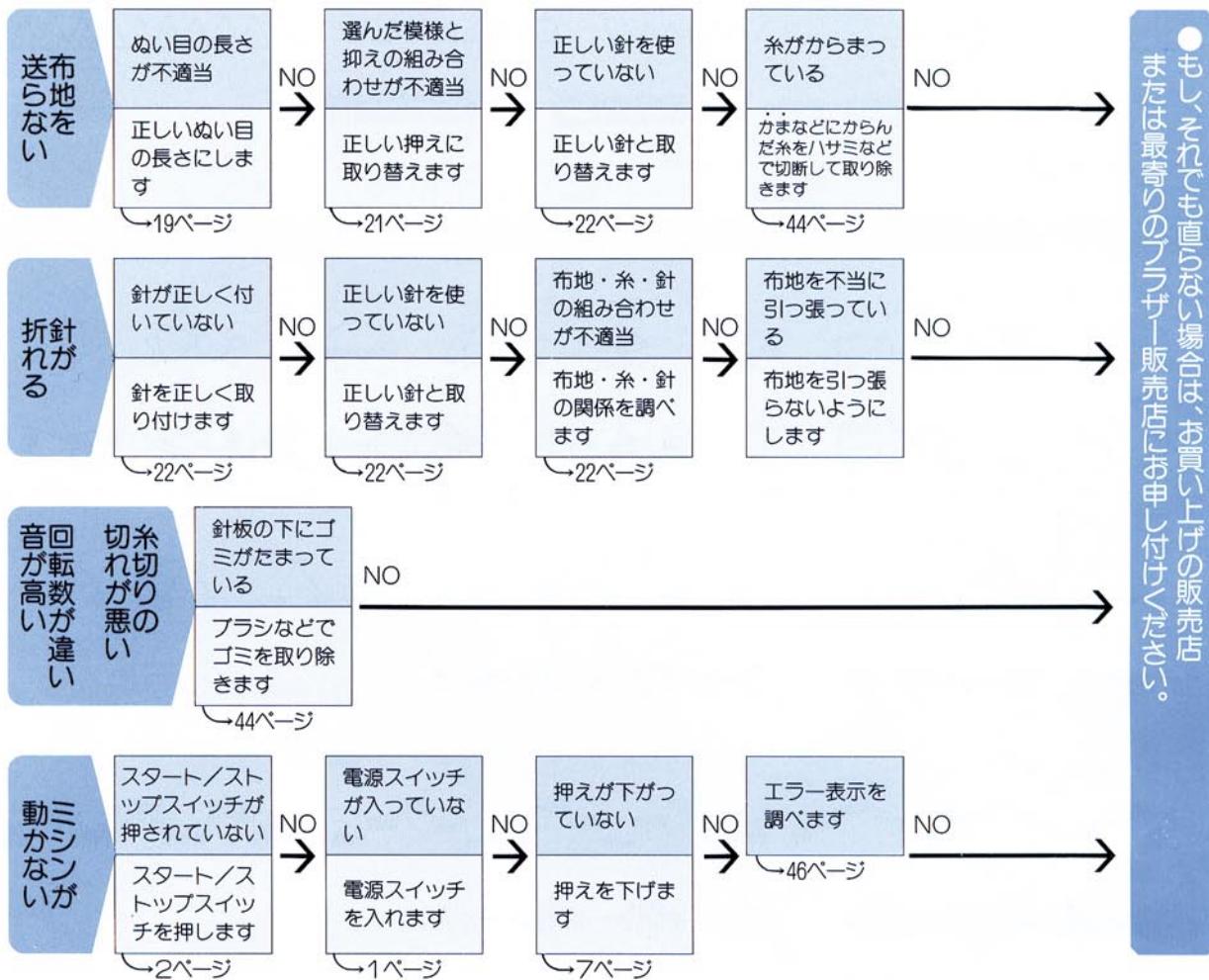
落ちついて原因

■糸とぬい目のトラブル



を確かめましょう。

■機械トラブル



ご注意

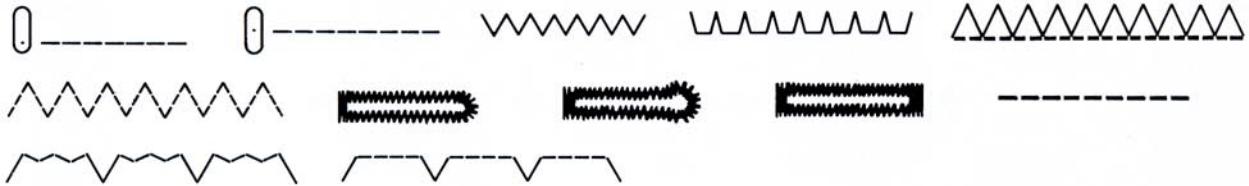
- このミシンは、針棒切り離し機構により、選択した模様によっては、針が上で停止したまま布地を送ります。そのとき縫製音と異なった音が発生しますが、トラブルではありませんのでご了承ください。

- 運転中に停電が発生した場合
 - ・電源スイッチを切って電源プラグを抜いてください。
 - ・再運転される場合は、運転の手順にもとづき正しく行ってください。

模様一覧

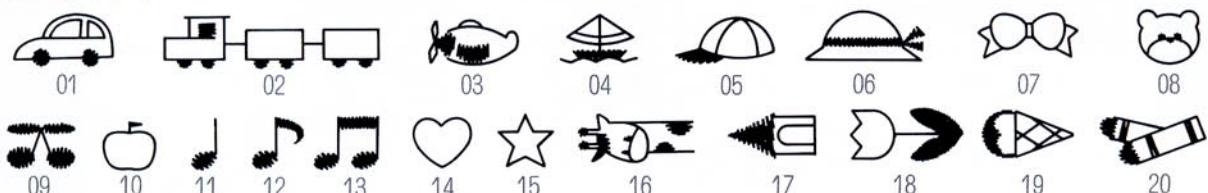
※模様は全て実寸大です。

基本実用

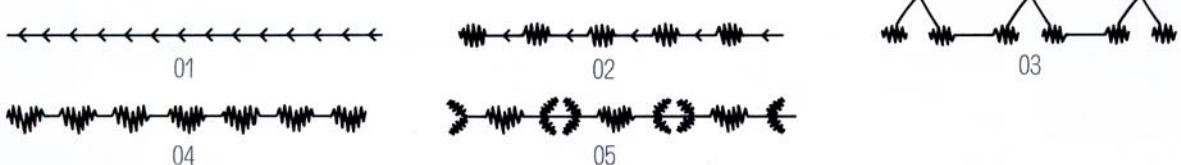


模様

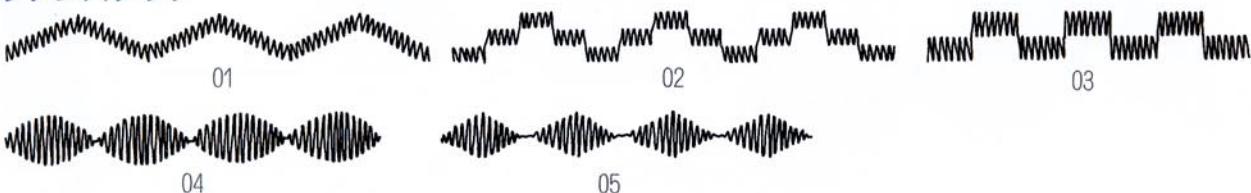
●ワンポイント



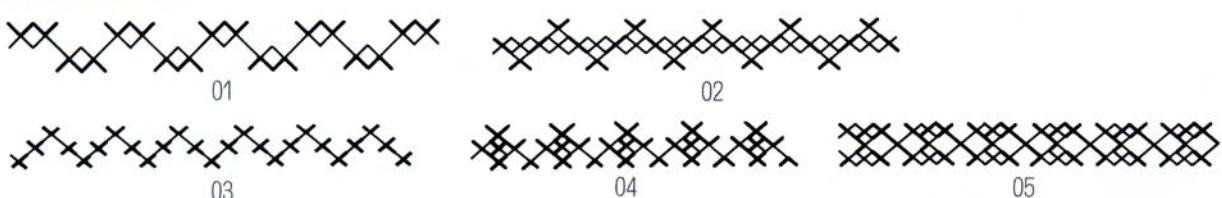
●飾り



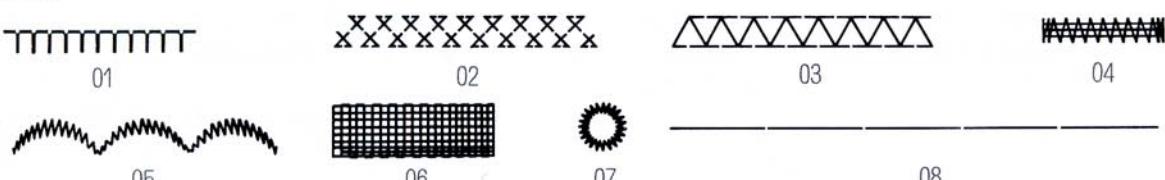
●サテンステッチ



●クロスステッチ



●実用



ひらがな

●よこ／たて

あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
ま	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ		
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43		
わ	を	ん	”	◦	つ	や	ゆ	よ						
44	45	46	47	48	49	50	51	52						
&	?	!	□	≡	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67

アルファベット

●ブロック体

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	&	?	!	□
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
□	≡	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42			

●筆記体

Α	Β	Ϲ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ
01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13		
Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ
14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26		
Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ	Ͳ
27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41

アフターサービス

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- 無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
(詳しくは保証書をご覧ください。)
それ以後の修理については、お買い上げの販売店、または最寄りのブザー販売店にご相談ください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年保有しています。
・性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについてご不明な場合は、お買い上げの販売店、または下記の《お客様相談コーナー》へお問い合わせください。

お客様相談コーナー

北海道事業所	〒060 札幌市中央区南三条西3-2-2	TEL:(011)261-6631
東北事業所	〒980 仙台市青葉区一番町2-3-10	TEL:(022)227-8877
関越事業所	〒330 大宮市仲町1-124-2	TEL:(048)648-3121
東京事業所	〒104 東京都中央区京橋3-3-8	TEL:(03)3281-4204
中部事業所	〒467 名古屋市瑞穂区塩入町11-5	TEL:(052)824-3193
関西事業所	〒542 大阪市中央区心斎橋筋1-2-19	TEL:(06) 252-1797
中国事業所	〒730 広島市中区胡町4-28	TEL:(082)240-3762
四国事業所	〒760 高松市寿町1-1-5	TEL:(0878)51-7342
九州事業所	〒812 福岡市博多区博多駅前2-20-1	TEL:(092)431-3894
沖縄事業所	〒900 那覇市泊3-1-2	TEL:(098)868-4511

◎ブザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記の《お客様相談コーナー》へご連絡ください。

*上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

ブザー工業株式会社

取扱店

名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467

TEL:(052)824-2511(代表)

114-833
191833-001
9301②